

COSMOS ユーザーズ・マニュアル

森 洋久

joshua @ globalbase.org

2007-11-04 版

目次

第 1 章	はじめに	3
1.1	目的と概要	3
1.2	このマニュアルを読むために必要な知識	3
1.3	前提となるシステム要件	3
1.4	COSMOS で出来ること	3
第 2 章	COSMOS インストール (WindowsXP)	5
2.1	概要	5
2.2	この作業の前提となるシステム要件	5
2.3	インストーラのダウンロード (1)	5
2.4	インストーラのダウンロード (2)	5
2.5	インストーラのダウンロード (3)	9
2.6	インストーラのダウンロード (4)	9
2.7	インストーラのダウンロード (9)	10
2.8	インストーラの起動 (1)	10
2.9	インストーラの起動 (2)	11
2.10	インストーラの起動 (3)	12
2.11	インストーラの起動 (4)	12
2.12	インストーラの起動 (5)	12
2.13	最後に	12
第 3 章	COSMOS インストール (MacOSX)	14
3.1	概要	14
3.2	この作業の前提となるシステム要件	14
3.3	インストーラのダウンロード (1)	14
3.4	インストーラのダウンロード (2)	15
3.5	インストーラのダウンロード (3)	18
3.6	ソフトウェアの登録	18
第 4 章	COSMOS インストール (POSIX)	21
4.1	概要	21
4.2	この作業の前提となるシステム要件	21
4.3	インストーラのダウンロード	21
4.4	インストーラの実行	21
4.5	インストーラのオプション	22
4.6	各ユーザの設定	22
4.7	cosmos の実行確認	22

第 5 章	環境設定	23
5.1	概要	23
5.2	環境設定画面を開く	23
5.3	ホーム URL の設定	24
5.4	アピランスの設定	25
5.5	キャッシュの設定	25
5.6	プロキシの設定 (HTTP プロキシ)	25
5.7	プロキシの設定 (ネイティブプロキシ)	27
第 6 章	COSMOS の起動と基本機能	29
6.1	概要	29
6.2	COSMOS 起動	29
6.3	COSMOS メイン画面ブラウザウィンドウ	30
6.4	ブラウザウィンドウのメニュー、特にワープメニュー	31
6.5	ワープメニュー機能	35
6.6	ブラウザウィンドウその他事項	36
第 7 章	ワープポイントメニューをカスタマイズ	37
7.1	概要	37
7.2	ワープポイントメニュー編集画面を開く	37
7.3	ワープポイントメニューのタイトルを変更する	38
7.4	ワープポイントメニューの位置を変更する	41
7.5	ワープポイントメニューの保存	41
7.6	新しいサブメニュー (ワープグループ) を作る	41
7.7	ワープメニューの詳細設定	42
7.8	ネットワークワープグループメニュー	48
第 8 章	トラックバック : HTTP ゲートウェイ画面を COSMOS 上にコピー、再現する	49
8.1	概要	49
8.2	この作業の前提となるシステム要件	49
8.3	HTTP ゲートウェイをつかったホームページをアクセスする	49
8.4	COSMOS のダウンロード (必要あれば)	50
8.5	トラックバック	52
8.6	COSMOS で再現された画面	53
8.7	「COSMOS へのトラックバック」で正常にトラックバックできなかった場合	53
8.8	トラックバック情報をコピー、ペースト	54
第 9 章	COSMOS のクリップボードについて	56
9.1	概要	56
9.2	クリップボードのデータ型	56
9.3	画像	56
9.4	通常テキスト	56
9.5	検索条件	57
9.6	ワープポイント	57
9.7	ワープポイントメニュー	57
9.8	トラックバック	58

第1章 はじめに

1.1 目的と概要

GLOBALBASE の専用ブラウザである cosmos をインストールし、様々なコンテンツを閲覧する方法を解説します。インターネットブラウザの利用方法などに慣れた人であれば、特に問題はないと思われます。あわせて「COSMOS リファレンス・マニュアル [1]」も参照してください。

このマニュアルの Web 版 <http://www.globalbase.org/globalbase/man/html/ja-cosmos/index.html> もあわせて参照してください。

1.2 このマニュアルを読むために必要な知識

WWW ブラウザの基本的な操作が出来ること。

1.3 前提となるシステム要件

1. Windows XP, Vista
2. MacOSX
3. Linux
4. FreeBSD
5. Solaris

1.4 COSMOS で出来ること

ネットワークレイヤリング機能

COSMOS は GLOBALBASE のブラウザです。「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「GLOBAL-BASE」とは地理情報における WWW のようなものです。GLOBALBASE が WWW であれば、COSMOS は WWW のブラウザである FireFox や Internet Explorer に相当します。COSMOS を用いて、インターネット上の様々な地理情報にアクセスすることが出来ます。「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワープメニュー」メニューを使い地理情報をひとつ選ぶと、その地理情報の存在するサーバに瞬時に接続され、現在表示されている地理情報に重ね合わせられます。「ワープ」メニューで複数のメニューを選ぶだけで、地図や航空写真、統計情報などの複雑なレイヤ構造を作り出すことができます。

必要な座標系の表示・非表示

「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワープメニュー」メニューで選んだレイヤーはメニューにあくまでもメニューを作った人の観点でレイヤー化されています。実際に表示されたレイヤーひとつひとつの表示・非表示を自分でカスタマイズすることが出来ます。検索条件ごとに表示・非表示を指定する方法と、ネットワーク上から見つけてきた「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「座標系」と

に表示・非表示を設定する方法があります。検索条件ごとの処理は「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「検索条件パート」により行います。新しい検索条件をくわえることも出来ます。「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「表示座標系パート」を使い行うことができます。

ネットワークワーブグループ

「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワーブメニュー」メニューは基本的には、インストールしたコンピュータにその構成が記憶されているものですが、一部、GLOBALBASE ネットワーク上や WWW ネットワーク上に置くことができます。ネットワーク上に置かれたワーブメニューは、COSMOS 起動時に更新状況がチェックされ、更新されていれば、新しいものに入れ替えられます。初期設定では、「新着情報」 「What's New」がそのメニューにあたります。

「ワーブ」メニュー編集機能

「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワーブメニュー」メニューはメニュー「ワーブメニューを編集」から、編集することが出来ます（「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワーブポイントメニュー編集ウィンドウ」）。メニューの位置や、タイトルなどを変更することができます。また、編集したワーブメニューを COSMOS の設定用としてではなく、ファイルに書き出すことが出来ます。書き出されたファイルは、WWW や GLOBALBASE サーバにアップロードすることによってネットワークでアクセス出来るようになります。これがネットワークワーブグループの機能です。

WWW 連携機能

GLOBALBASE のコンテンツを WWW から閲覧出来るようにしたページがあります。たとえば、(<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/globalbase/gateway/main.html>) などが挙げられます。これらのページのいくつかは WWW ページ上で閲覧している地理情報、地図情報を COSMOS 上へ移し替えることが出来ます。これを COSMOS へのトラックバック機能 (8 節) と呼んでいます。WWW 上ではホームページを構成する段階で閲覧可能な地図、レイヤは固定されていますが、これを COSMOS 上へ持ってくることによって、他の様々な地図やレイヤと一緒に重ね合わせる事が出来るようになります。

第2章 COSMOS インストール(WindowsXP)

2.1 概要

WindowsXP 版 COSMOS のインストーラをダウンロードし、インストールする方法を説明します。

2.2 この作業の前提となるシステム要件

WindowsXP

2.3 インストーラのダウンロード (1)

GLOBALBASE ホームページ (<http://www.globalbase.org>) を開きます。以降、図 2.1 ~ 図 2.4 の図の赤丸のところをクリックしていきます。

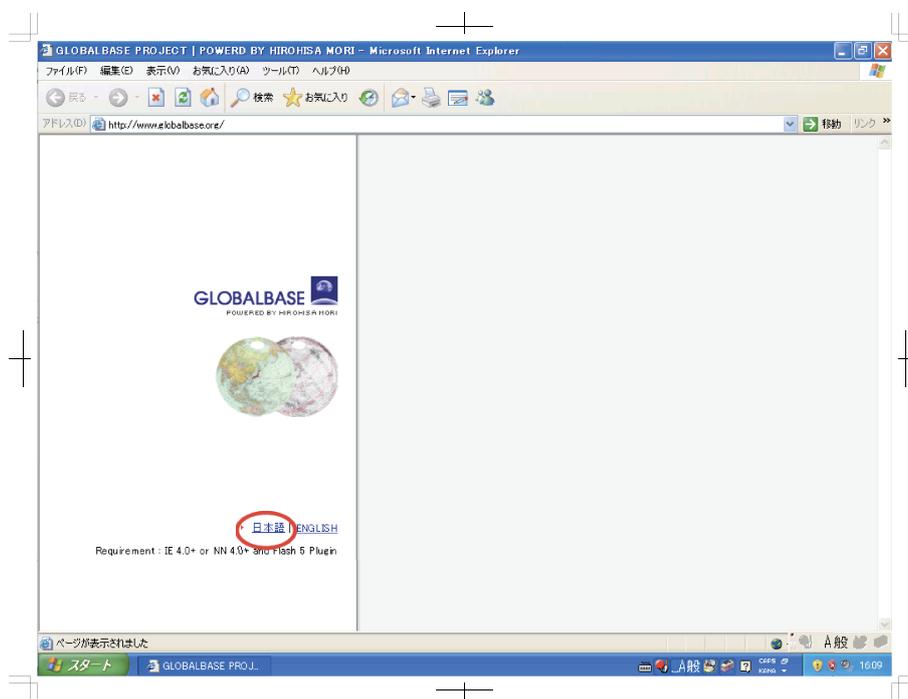


図 2.1: 01

2.4 インストーラのダウンロード (2)

そして現れた図 2.5 のページがダウンロードのページです。Windows 版の COSMOS 以外にも他のアーキテクチャ用のインストーラが多数あるので、`gbs-client-windows-2000_XP` というダウンロードタイプを

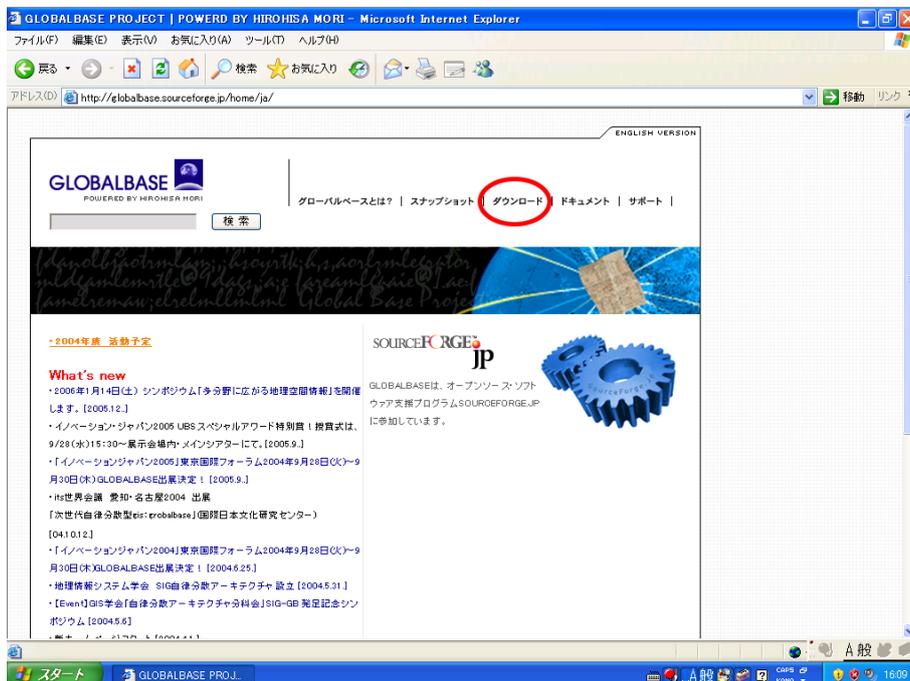


図 2.2: 02

探してください。

図 2.6 のページが Windows 版の COSMOS のインストーラのリストです。gbs-client-windows-2000_XP ダウンロードタイプです。新しいバージョンから古いバージョンへの順番で並んでいますので、一番新しいバージョンをクリックしてください。以下では、ver.B.b07 cosmos_setup_.zip が最新版ですので、cosmos_setup_.zip をクリックします。

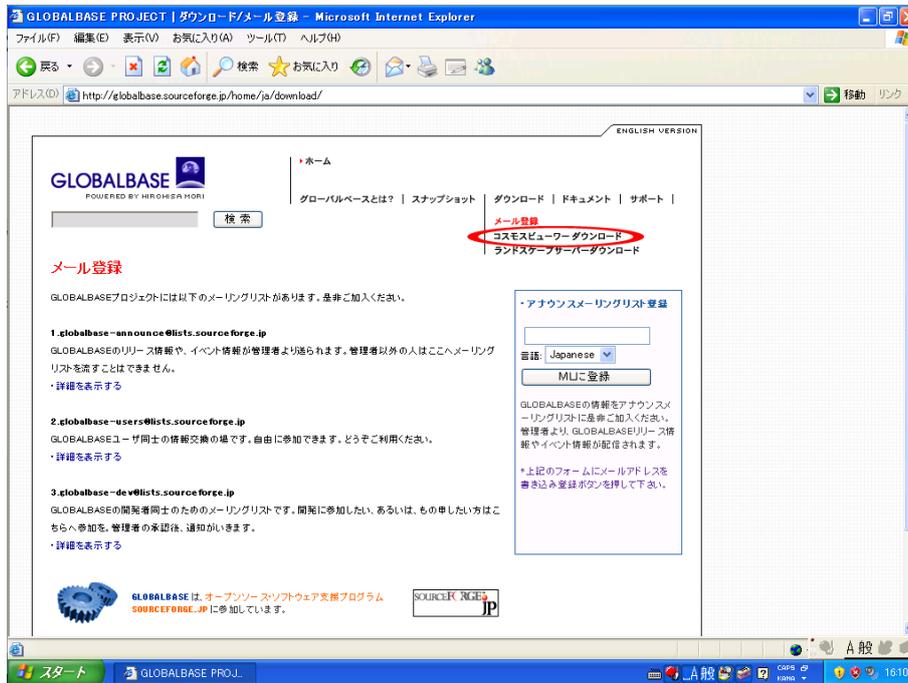


図 2.3: 03

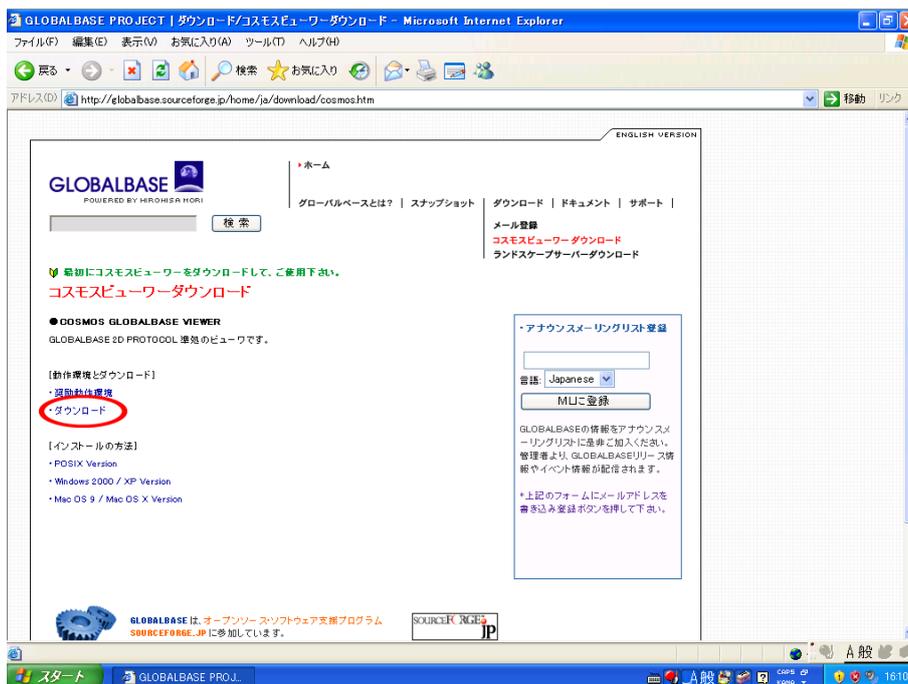


図 2.4: 04



図 2.5: 05

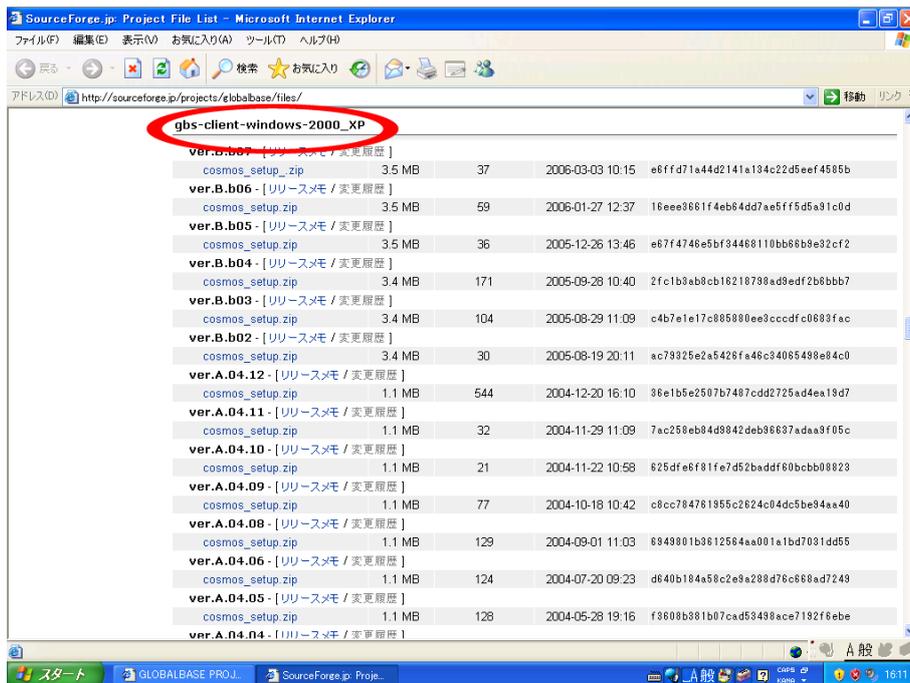


図 2.6: 06

2.5 インストーラのダウンロード (3)

すると 図 2.7 のような警告が出ますので、「開く」をクリック。

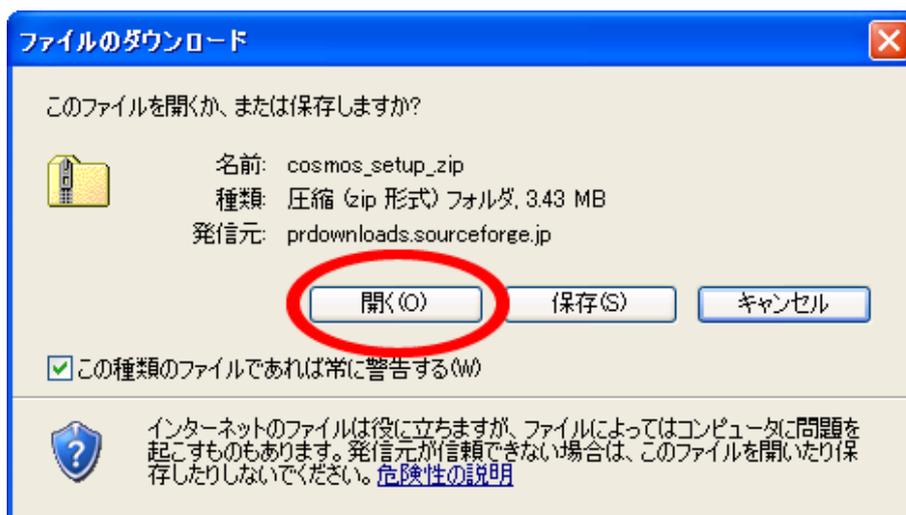


図 2.7: 07

2.6 インストーラのダウンロード (4)

ダウンロードが終了すると、図 2.8 のようなフォルダが開きますので、cosmos_setup の中へ入ります。

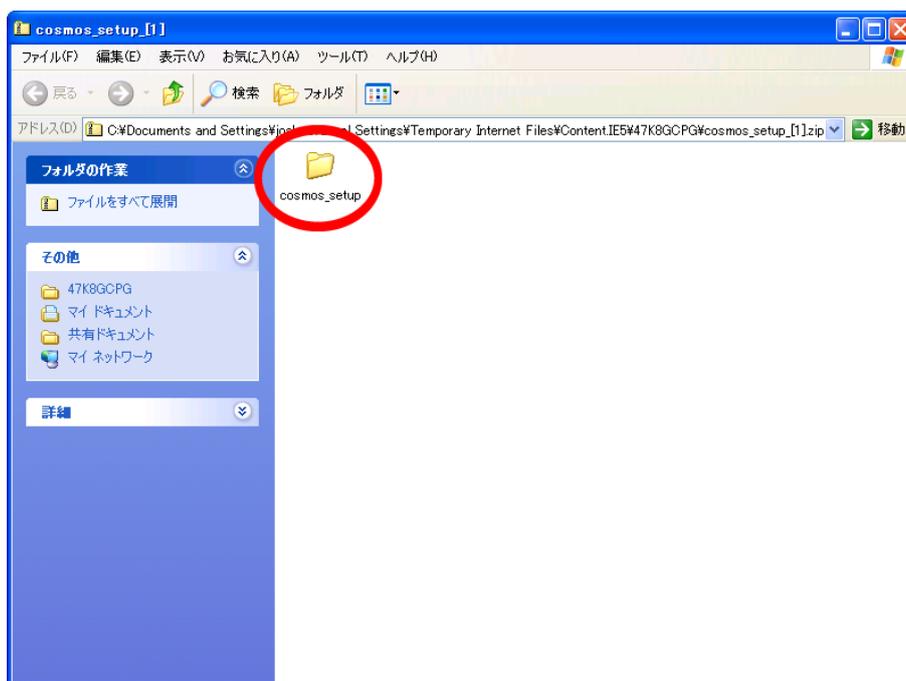


図 2.8: 08

2.7 インストーラのダウンロード (9)

図 2.9 の Setup という実行ファイルがインストーラです。

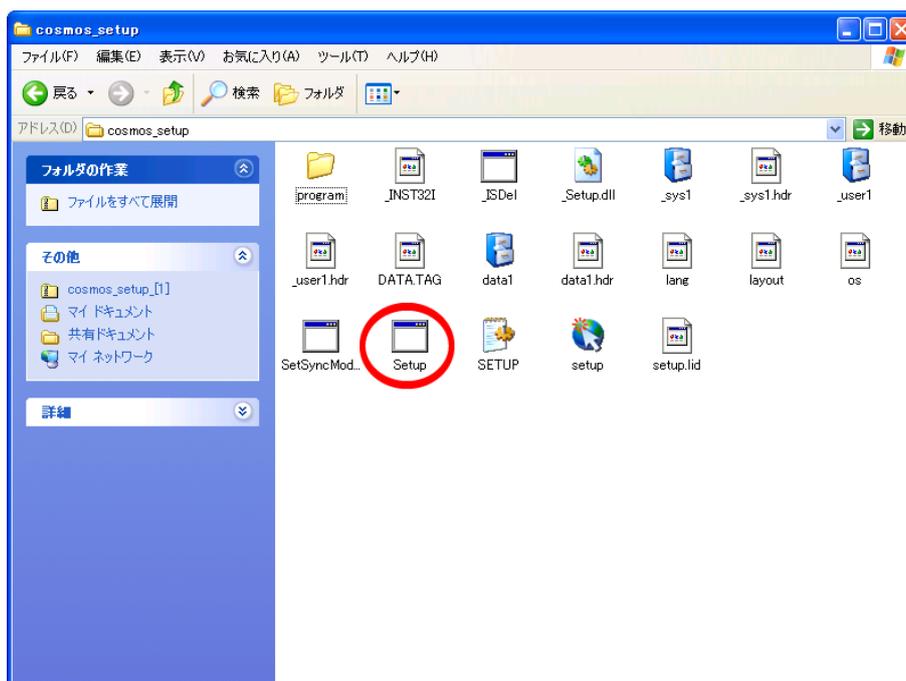


図 2.9: 09

2.8 インストーラの起動 (1)

Setup をクリックすると、図 2.10 のような警告が出ますので「実行」を押します。

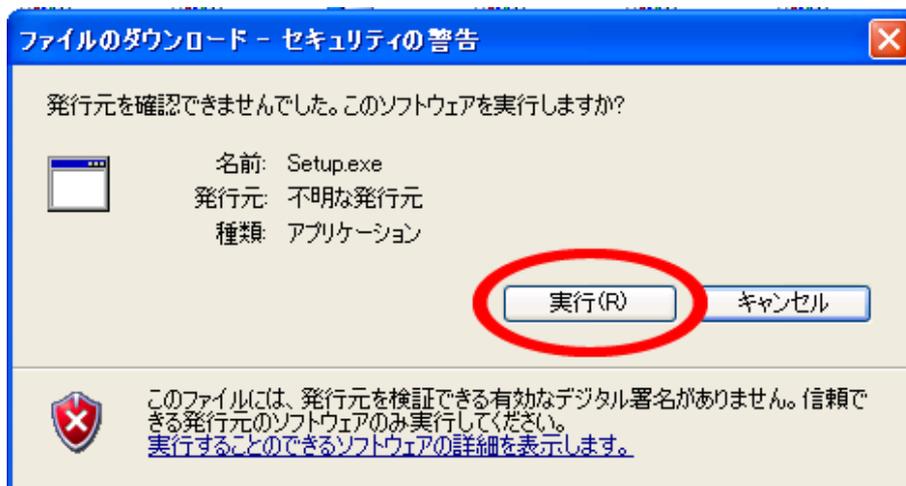


図 2.10: 10

「実行」でインストーラが開きます。(図 2.11)

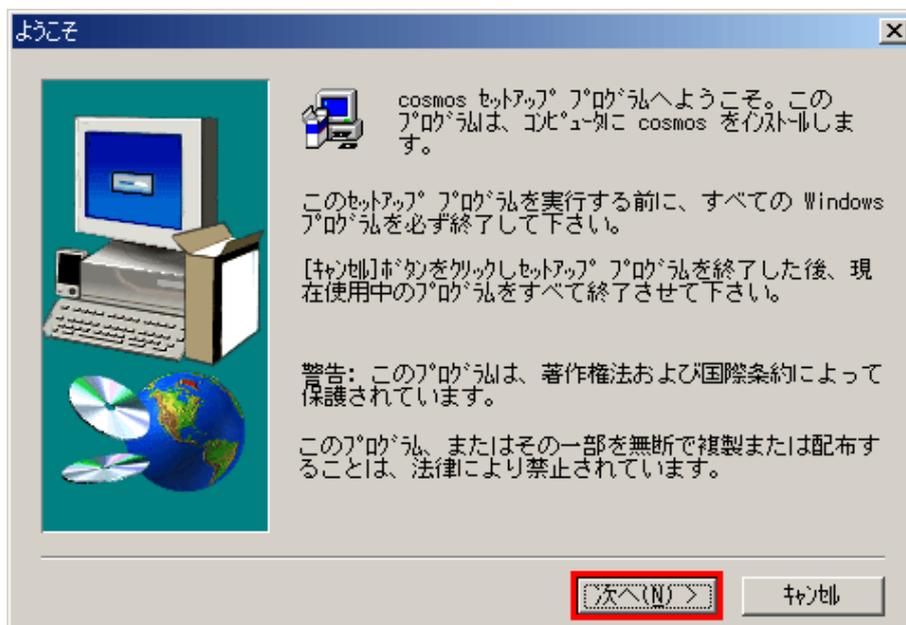


図 2.11: 11

2.9 インストーラの起動 (2)

プログラム実行ファイルの置き場所を指定します。(図 2.12) 変更の必要がなければ、そのまま次へを押します。



図 2.12: 12

2.10 インストーラの起動 (3)

このバージョンの GrobalBase cosmos を初めてコンピュータにインストールするときには、プログラム本体のインストールにチェックをつけます 図 2.13。すでに同じバージョンの GrobalBase cosmos をインストールしてあり、ネットスケープ 4.x 用の設定を行うのみの場合は、チェックをはずします。

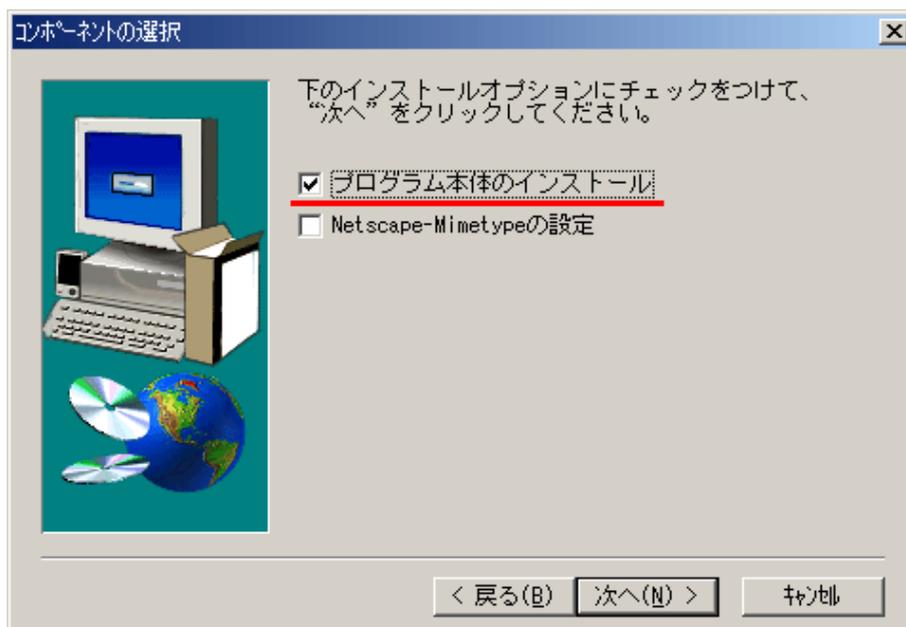


図 2.13: 13

2.11 インストーラの起動 (4)

ネットスケープ 4.x をご使用の場合は、Netscape-Mimetype の設定にチェックをつけます 図 2.14。ネットスケープ 4.x を使用していない場合は、チェックの必要はありません。次へをクリックしてインストールを開始します。

2.12 インストーラの起動 (5)

完了ボタンを押してインストールを終了します 図 2.15。

2.13 最後に

インストール後、「スタート」メニューに cosmos という項目が追加されます。デスクトップにも cosmos という項目が現れます。

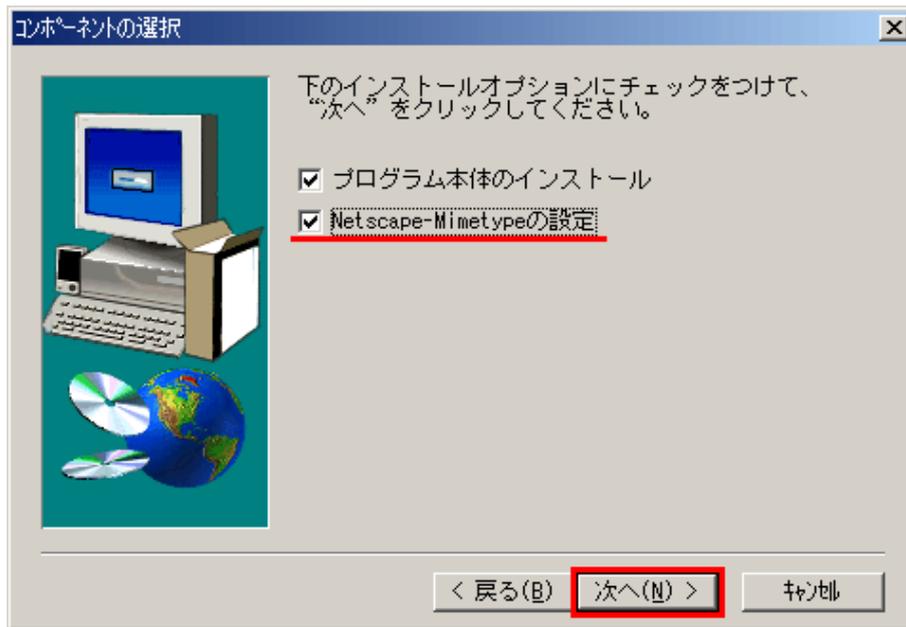


図 2.14: 14

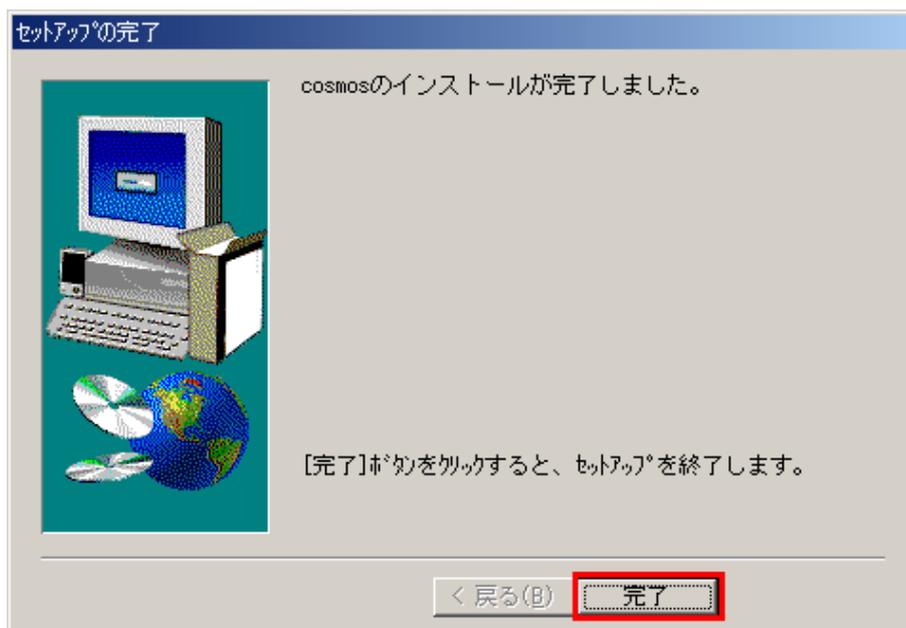


図 2.15: 15

第3章 COSMOS インストール (MacOSX)

3.1 概要

MacOSX 版 COSMOS のインストーラをダウンロードし、インストールする方法を説明します。

3.2 この作業の前提となるシステム要件

MacOSX

3.3 インストーラのダウンロード (1)

GLOBALBASE ホームページ (<http://www.globalbase.org>) を開きます。以降、図 3.1 ~ 図 3.4 の図の赤丸のところをクリックしていきます。

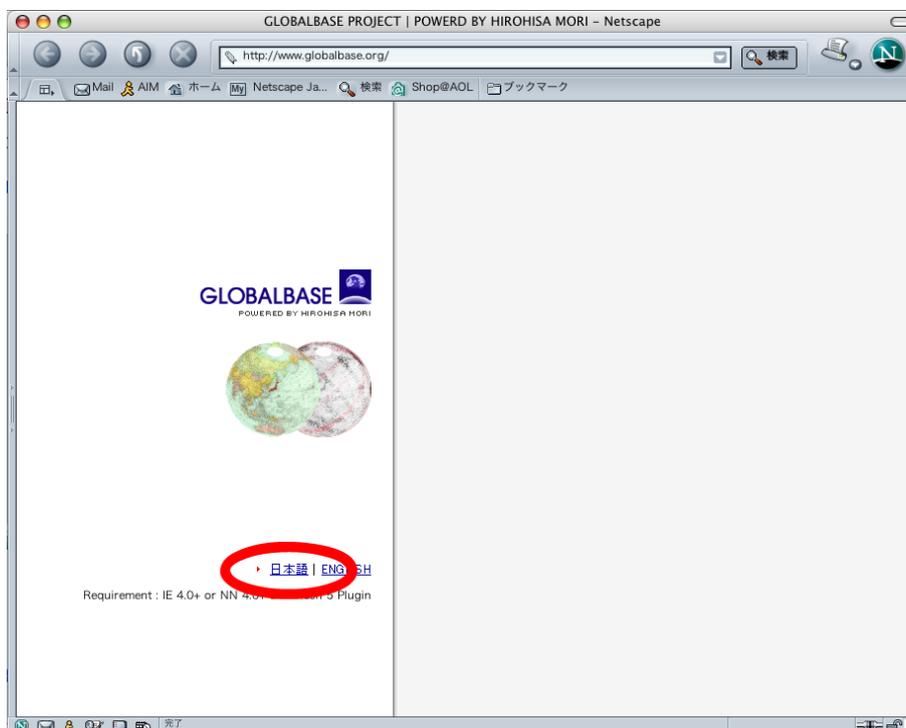


図 3.1: 01



図 3.2: 02

3.4 インストーラのダウンロード (2)

そして現れた 図 3.5 のページがダウンロードのページです。MacOSX 版の COSMOS 以外にも他のアーキテクチャ用のインストーラが多数あるので、gbs-client-carbon というダウンロードタイプを探してください。

図 3.6 のページが MacOSX 版の COSMOS のインストーラのリストです。gbs-client-carbonP ダウンロードタイプです。新しいバージョンから古いバージョンへの順番で並んでいますので、一番新しいバージョンをクリックしてください。最新版の COSMOS.zip をクリックします。

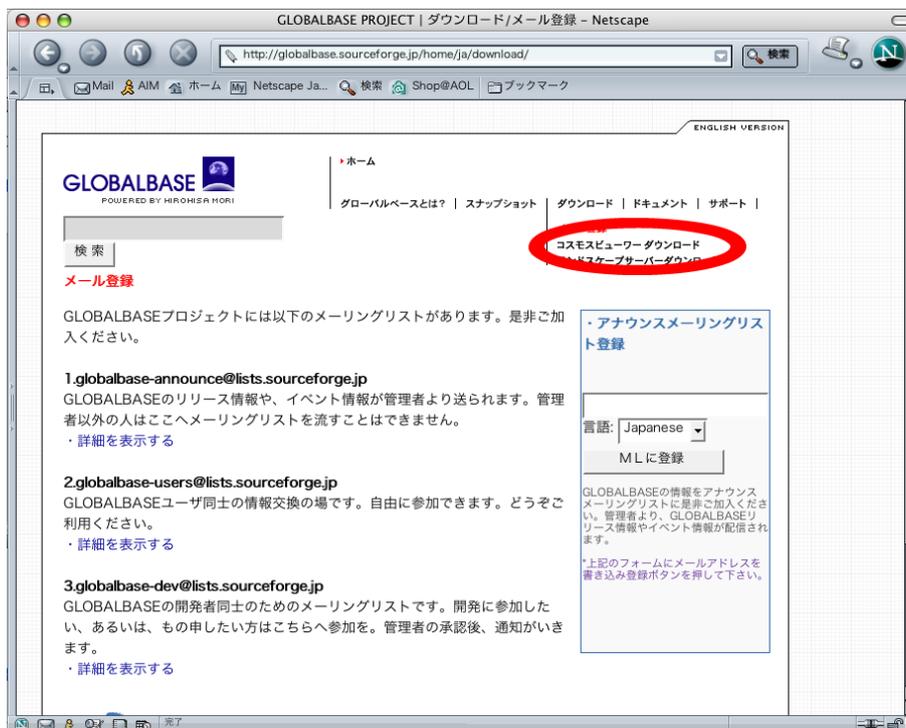


図 3.3: 03

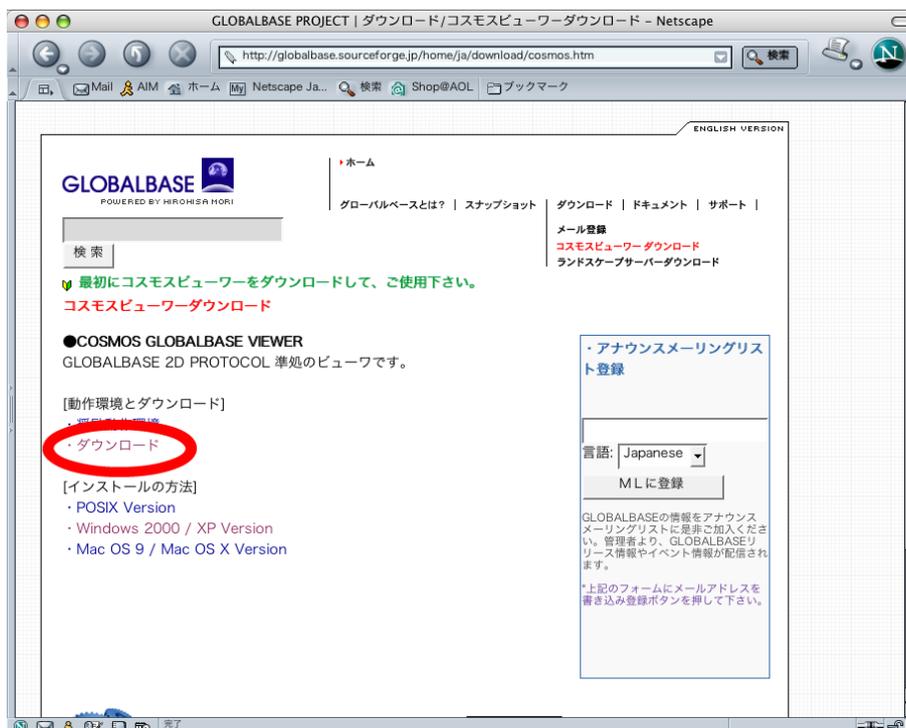


図 3.4: 04



図 3.5: 05

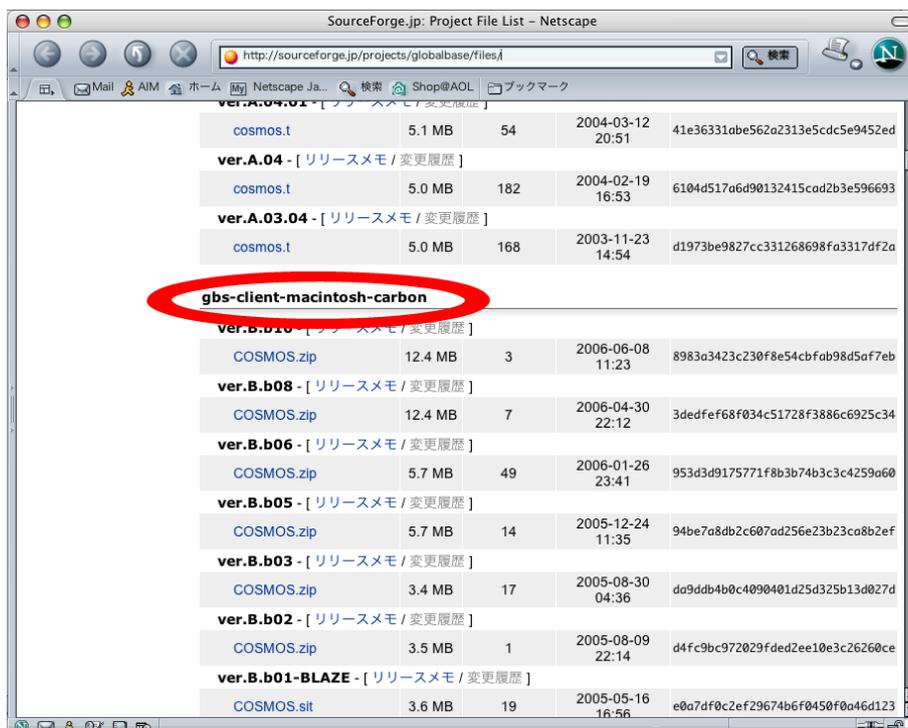


図 3.6: 06

3.5 インストーラのダウンロード (3)

すると 図 3.7 に示すミラーサイトのページへうつります。



図 3.7: 07

適当なミラーサイトをクリックすると、図 3.8 のようなフォルダが開きますので、適当な場所にインストーラをセーブします。

3.6 ソフトウェアの登録

図 3.9 がインストーラがセーブされたところです。ver.B.b16.05 以前のインストーラでは、COSMOS.zip をダブルクリックすると、図 3.10 のように COSMOS の実行ファイルができあがりますので、これを「アプリケーション」などの適当なフォルダに移動し、ドックに登録すればインストール完了です。

ver.B.b16.06 以降では zip の解凍後に COSMOS というディレクトリが出来上がり、その中に、COSMOS の実行ファイルが保存されます。同様に COSMOS の実行ファイルを「アプリケーション」にコピーすればインストール完了です。

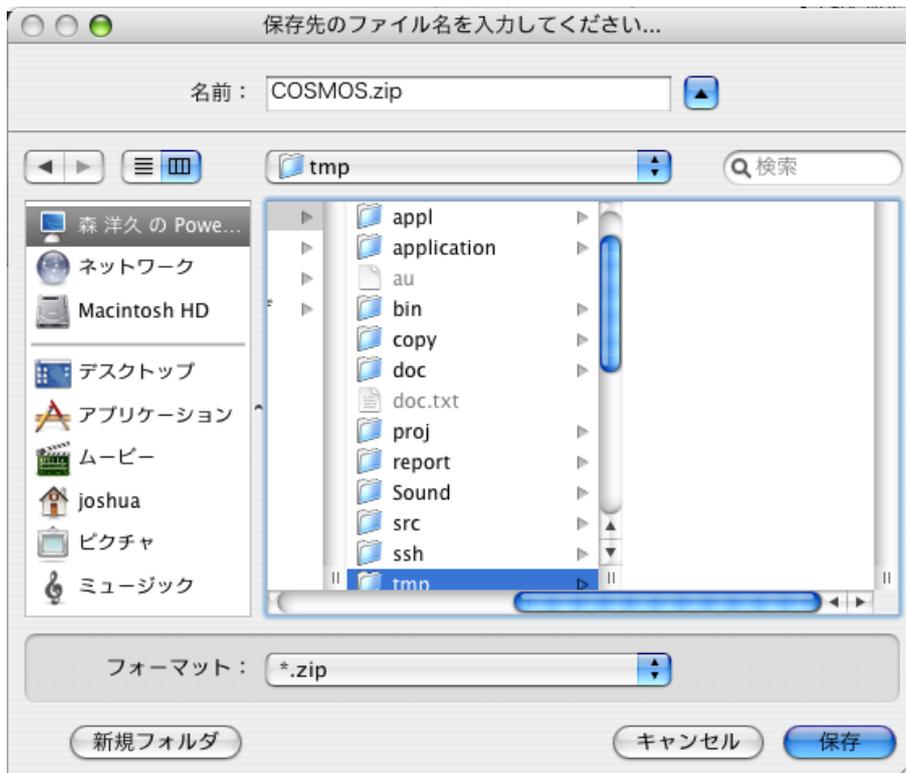


図 3.8: 08



図 3.9: 09



図 3.10: 10

第4章 COSMOS インストール (POSIX)

4.1 概要

POSIX 版 COSMOS のインストーラをダウンロードし、インストールする方法を説明します。

4.2 この作業の前提となるシステム要件

POSIX (Linux Solaris)

4.3 インストーラのダウンロード

GLOBALBASE のダウンロードのページ ((<http://sourceforge.jp/projects/globalbase/>)) より、gbs-client-linux.general, gbs-client-solarisX など手元のマシンにあったバージョンの最新版をダウンロードしてください。ダウンロードページの構成は基本 t 系に sf.jp のミラーサイトであり、MacOSX や Windows のダウンロードページと基本的に同じです。これらを参考にしてください。

ver.B.b16.05 以前のバージョンでは、cosmos.t というファイルがダウンロードされるので、cosmos をインストールするディレクトリに置いてください。たとえばそのディレクトリを cosmosdir とします。cosmosdir の中身はできれば空のディレクトリが最適です。インストーラはこのディレクトリの中に bin と peripheral という二つのディレクトリを作ります。

ver.B.b16.06 以降のバージョンでは、cosmos.tar.gz というファイルがダウンロードされます。これを、gzip, tar で解凍すると、その中に cosmos.t というファイルと README があります。

```
% gzip -d cosmos.tar.gz
% tar xvf cosmos.tar
% ls
cosmos.t README.en.txt README.sjis.txt
%
```

4.4 インストーラの実行

ワーキングディレクトリを cosmosdir へ変更し、root になり、cosmos.t を実行します。ver.B.b16.05 以前のバージョンでは、cosmos.t の実行権限を変更する必要がありますが、ver.B.b16.06 以降ではその必要はありません。

```
% cd cosmosdir
% chmod 0755 cosmos.t
```

```
% su root
# ./cosmos.t -app
```

cosmosdir の下に、ディレクトリ、bin、peripheral が出来ていれば、インストール成功です。ディレクトリ bin の中には cosmos という実行ファイルと、cosmos_installer.t という実行ファイルが入っています。

4.5 インストーラのオプション

cosmos.t および、cosmos_installer.t 同じ実行形式ファイルです。これらは以下のオプションを持っています。

1. -all

実行形式ファイルを展開すると同時に、ブラウザのヘルパーアプリケーションへの登録など周辺環境のセットアップもすべて行います。個人で、個人ユーザのディレクトリにセットアップして使う場合はこのオプションが最適です。

2. -app

実行形式ファイルだけを展開します。root で、一つのマシンに一回だけインストールし、共有して使用する場合は、このオプションでまずインストールしてください。

3. -env

-app でマシンにすでにインストールされている場合、各ユーザは cosmos を使用する前に、

```
./cosmos.t -app
```

を一回実行してください。ユーザのブラウザなどの周辺環境をセットアップします。bin の中に展開される、cosmos_installer.t を実行してもよいです。この場合オプションはありません。

4.6 各ユーザの設定

1. 各ユーザは、それぞれの環境の path に、ディレクトリ cosmosdir/bin を加えてください。
2. 各ユーザは、各自の環境で cosmos_installer.t を実行してください。

```
% cosmos_installer.t -env
```

4.7 cosmos の実行確認

以下のように実行することにより、ビューワが立ち上がります。

```
% cosmos v
```

第5章 環境設定

5.1 概要

COSMOSの環境設定の方法を説明します。特に言語環境の設定、および、プロキシの設定を説明します。ファイアーウォールの存在しないネットワークでの利用では、特になにも設定することなく、COSMOSは起動できると考えられます。その場合はこの章を読み飛ばすことが可能です。ファイアーウォールの存在するネットワークであったり、COSMOSを細かくカスタマイズしたい場合、この章を参照してください。

5.2 環境設定画面を開く

MacOSXでは、「COSMOS」「環境設定....」メニューから開くことができます。Windows, Linuxでは、「ファイル」「環境設定....」メニューから開くことができます。図5.1に示されるウィンドウが開きます。

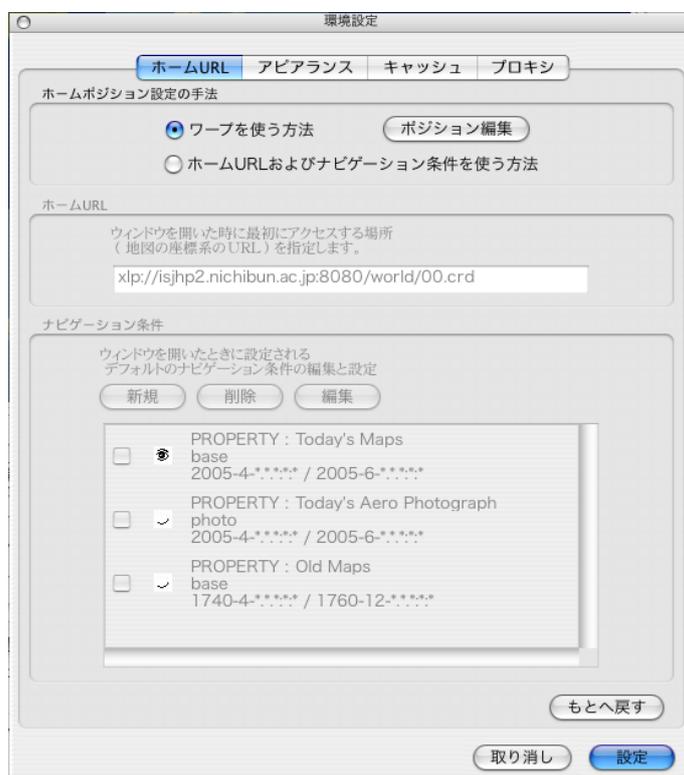


図 5.1: 環境設定ウィンドウ

環境設定では、

1. ホーム URL の設定
2. アピアランスの設定

3. キャッシュの設定

4. プロキシの設定

がで来ます。

5.3 ホーム URL の設定

ホーム URL の設定とは、ブラウザウィンドウを開いたときに、最初に表示される地図情報を決定します。決定の方法に二つあり、ひとつはワープの機能を利用する方法と、もうひとつは直接ホーム URL を指定する方法です。「ホームポジション設定の手法」という欄では、その両者を選択します。ワープを使う方法を選択した場合、ブラウザウィンドウの「ワープ」「ホームポジションに設定」メニューを選択すると、以降、ホームポジションにこのとき開いていた場所、検索条件が設定されます。「ポジション編集」を開くと、設定されているホームポジションがワープポイント編集ウィンドウに表示され、詳細を設定することが出来ます。このウィンドウで複数のワープメニューを設定しても、最初のワープメニューのみがホームポジションとして使われます。ワープメニューの編集方法は 7 節を参照してください。

「ホーム URL およびナビゲーション条件を使う方法」を選択した場合、「ホーム URL」「ナビゲーション条件」グループボックスがアクティブとなり (図 5.2)、利用可能になります。ホーム URL にはホーム URL を直接入力してください。ナビゲーション条件は、「新規」ボタンより条件を新たに加えたり (「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「検索条件編集ウィンドウ (フローティング)」)、また、ブラウザウィンドウの「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「検索条件パート」から、コピー、ペーストしてきてください。



図 5.2: ホーム URL およびナビゲーション条件を使う方法

5.4 アピアランスの設定

アピアランスの設定では、COSMOSの主たる言語環境とデザインテーマを選びます。現在言語環境としては、日本語と英語が用意されています。デザインテーマとしては skeleton1 のみが用意されています。



図 5.3: アピアランス

5.5 キャッシュの設定

接続されダウンロードされるコンテンツのキャッシュの設定を行います。キャッシュの対象としては画像やその書誌情報といったリソースのキャッシュ、および、ネットワーク上でのマッピングパスのキャッシュの二種類あります。さらにそれぞれについて、キャッシュ無効、書き込みのみ有効、有効の3パターンがあります。「書き込みのみ有効」を選ぶと、キャッシュが存在していても、ネットワークにアクセスし、リソースおよびマッピングパスをダウンロードしてきます。ダウンロードしたものはキャッシュに書き込みます。

[メモ]

キャッシュの設定はサーバのコンテンツの編集時に重要です。閲覧のみの場合は、すべてを「有効」にセットしましょう。

5.6 プロキシの設定 (HTTP プロキシ)

ファイヤーウォールの中から様々なコンテンツにアクセスする場合、プロキシの設定が必要です。プロキシのタイプには、HTTP プロキシ、XL ネイティブプロキシ、ゲートウェイの3パターンがあります。ネッ

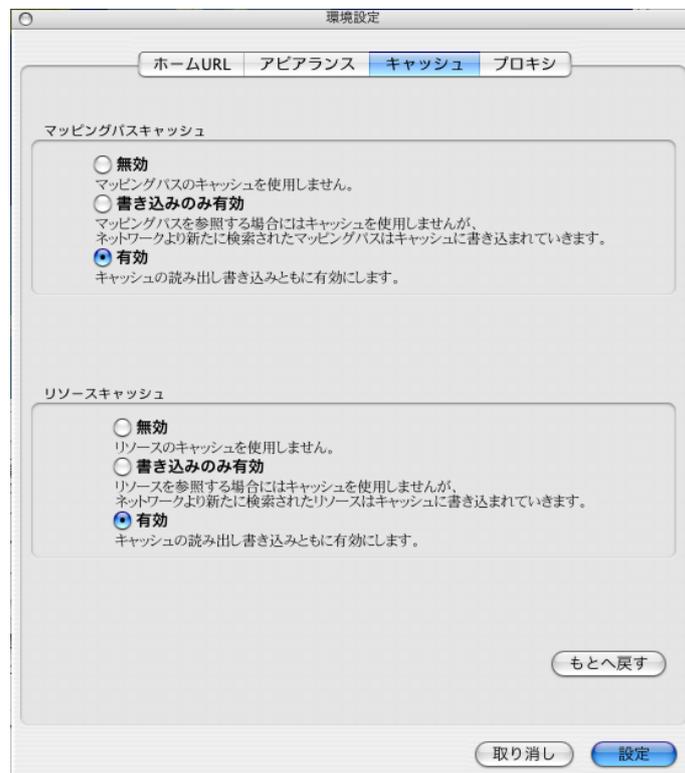


図 5.4: キャッシュ設定

トワーク上に HTTP プロキシがある場合、このステップの HTTP プロキシ設定を行ってください。もし、ネイティブプロキシ設定を行った、GB サーバが存在する場合は、次のステップ (5.7 節) へ飛んでください。

では、HTTP プロキシの解説を行います。まずは、ネットワーク管理者から WWW プロキシサーバとポートの情報を得てください。

[メモ]

プロキシの設定を簡略化するため WWW では、プロキシバックと呼ばれるファイルにアクセスする方法が取られることがしばしばです。プロキシバックの手法を取っているネットワークではこのファイルの中身の情報を得ましょう。自分のマシンがあるネットワークからアクセス可能なプロキシサーバとポート番号が得られるはずですが。

環境設定ウィンドウの「HTTP プロキシ」タブを開き、「プロキシ有効」のラジオボタンを選択します。その上で、「プロキシサーバ」テキストボックスにプロキシサーバ名、「ポート番号」テキストボックスにポート番号を書き込みます。

もしファイヤウォールの中にアクセスすべき GLOBALBASE サーバがある場合は、そのサーバ名を「ダイレクトにアクセスすべきサーバを以下に列挙してください」という文章のしたの欄に書き込んで行きます。

以上の設定を完了し、「設定」ボタンを押すとプロキシが設定されます。設定後、COSMOS を終了、再起動すれば設定が有効になります。



図 5.5: HTTP プロキシの設定

5.7 プロキシの設定 (ネイティブプロキシ)

ここでは、ネイティブプロキシの設定方法を解説します。HTTP プロキシの設定を行った場合は、この設定は必要ありません。まずは、ネットワーク管理者から GB プロキシサーバとポートの情報を得てください。環境設定ウィンドウの「XL ネイティブプロキシ」タブを開き、「プロキシ有効」のラジオボタンを選択します。その上で、「プロキシサーバ」テキストボックスにプロキシサーバ名、「ポート番号」テキストボックスにポート番号を書き込みます。

もしファイヤウォールの中にアクセスすべき GLOBALBASE サーバがある場合は、そのサーバ名を「ダイレクトにアクセスするべきサーバを以下に列挙してください」という文章のしたの欄に書き込んでいきます。

以上の設定を完了し、「設定」ボタンを押すとプロキシが設定されます。設定後、COSMOS を終了、再起動すれば設定が有効になります。



図 5.6: ネイティブプロキシの設定

第6章 COSMOSの起動と基本機能

6.1 概要

COSMOSの起動方法を説明し、メイン画面における簡単な操作方法を解説します。

6.2 COSMOS 起動

COSMOSの起動方法は、各OSで異なります。

Windowsの場合

スタートアップメニューから、COSMOSを選びます。あるいは、インストール直後はエイリアスがデスクトップに出来ているので、これをダブルクリックします。

MacOSXの場合

アプリケーションCOSMOSをダブルクリックしてください。

Posixの場合

```
% cosmos v
```

と打ちます。

起動画面はみな一緒です。



図 6.1: COSMOS 起動画面

[メモ]

起動画面が消えてから、メイン画面が開くまでに時間がかかる場合があります。

[注意]

ファイアーウォールのあるネットワークの場合、外部にアクセス出来ない場合があります。その場合は、COSMOS 起動後、環境設定の 5.6 節を実行してください。

6.3 COSMOS メイン画面ブラウザウィンドウ

メイン画面は、図 6.2 にしめすブラウザウィンドウです。ブラウザウィンドウの各部名称は、図 6.3 です。詳しくは、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ブラウザウィンドウ」を参照してください。

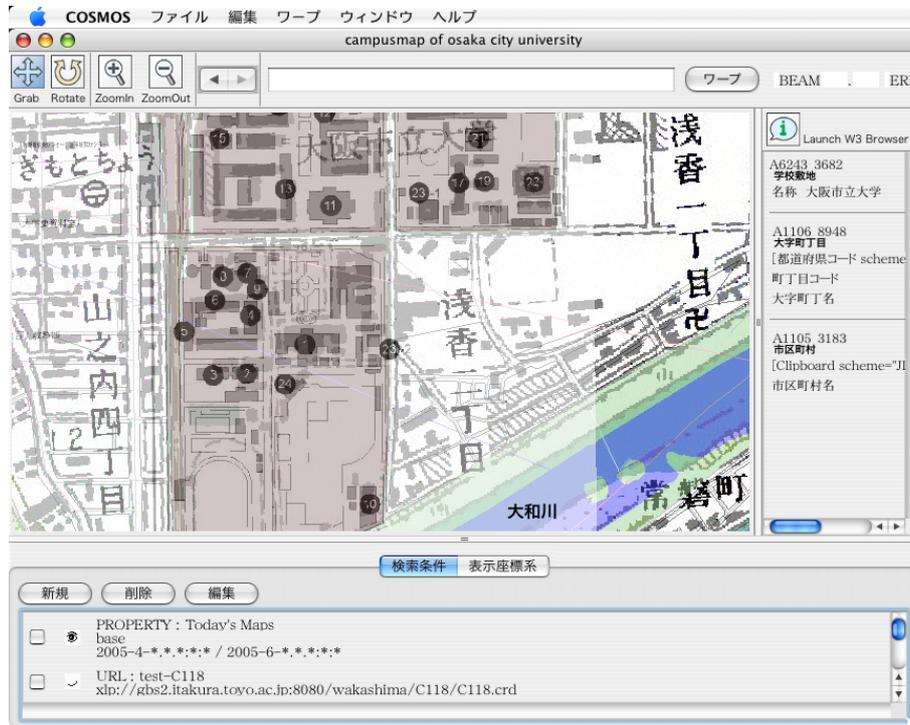


図 6.2: ブラウジングウィンドウ

ブラウザウィンドウの中央部は、地図を表示するブラウジングパートであり、ここの上でマウスをドラッグすると、地図の表示位置が変化します。上部に各種ボタンが配置されており、移動ボタン、回転ボタンで、ドラッグ時の移動/回転が制御出来ます。履歴ボタンでは、以前たどってきた地図の位置へもう一度戻るときに便利です。地図の URL が分かっている場合には、ワーブボックスに URL を書き込み「ワーブ」ボタンをおすことによってその地図へジャンプすることができます。

ブラウジングパートの右に情報表示パートがあります。マウスを地図のうえへ持ってくると、その下にあるオブジェクトの属性がここに表示されます。ブラウジングパートの下部には、検索条件、表示座標系を制御するための検索条件、表示座標系パートがあります。これらのパートの境界線上にマウスを持って行き境界線の位置をかえることによって、それぞれのパート大きさを変えることが出来ます。

図 6.4 は情報表示パートを消した様子です。また、図 6.5 はブラウジングパート以外をすべて消したものです。このようにすると広いブラウジングパートでブラウズすることができます。

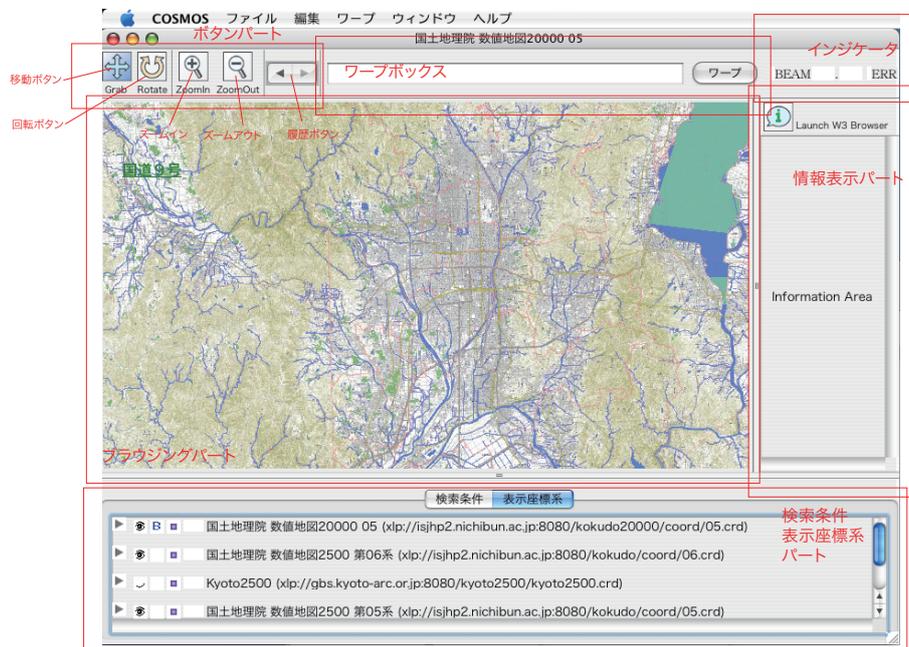


図 6.3: ブラウジングウィンドウ各部の名称

6.4 ブラウザウィンドウのメニュー、特にワープメニュー

ブラウザウィンドウで使えるメニューは「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「基本メニューリファレンス」に示される、「ファイル」「編集」「ワープ」「ウィンドウ」「ヘルプ」の5つのメニューです。ブラウザウィンドウで、「ファイル」メニューより「新規」を選ぶと新しいブラウザウィンドウが開きます。特に特徴的なのは「ワープ」メニューです。「ワープ」メニューはWWWブラウザのブックマークに相当するメニューと考えて良いでしょう。たとえば、ワープメニューにおける「GB 発祥の地」というのを選択すると、そのメニューに設定されている場所へ飛んで行くことができます。

図 6.7 はワープメニューの一部がネットワーク上にある場合です。このように、「Loading...URL」という形でその場所が URL で示されています。このメニューを選択し、しばらくしてもう一度メニューをあけると、図 6.9 のようにネットワーク上のメニューがローディングされています。いったんローディングされたネットワークワープグループは、ディスク上に記憶され、次回 COSMOS を起動したときも同じ場所からメニューを読み込みます。したがって COSMOS を起動するたびに、ネットワークワープグループは新しいものに入れかわっているということになります。

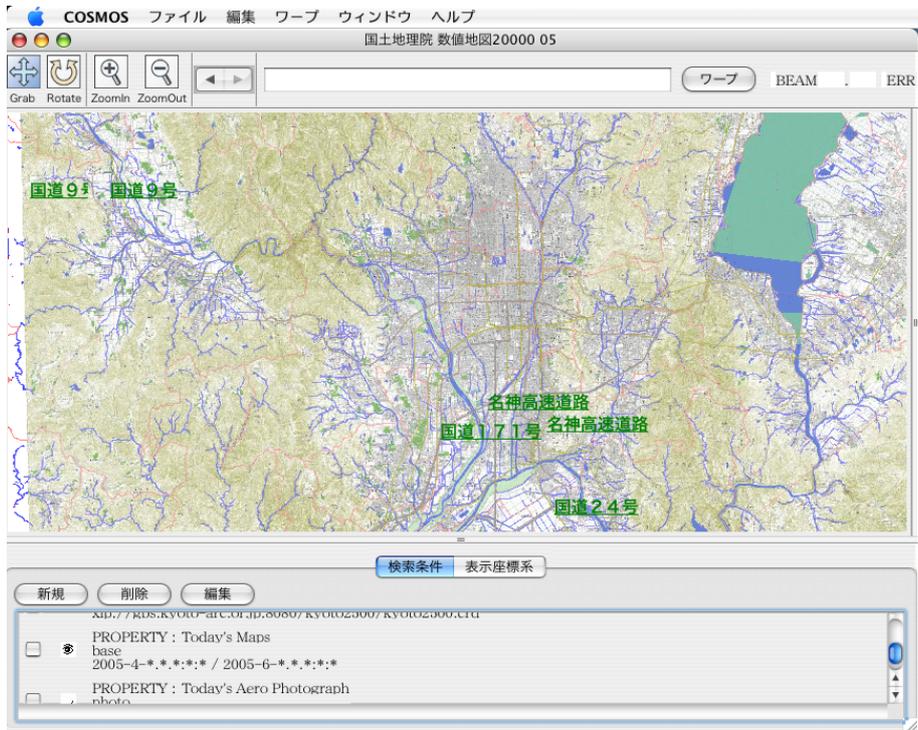


図 6.4: 情報表示パートを消す

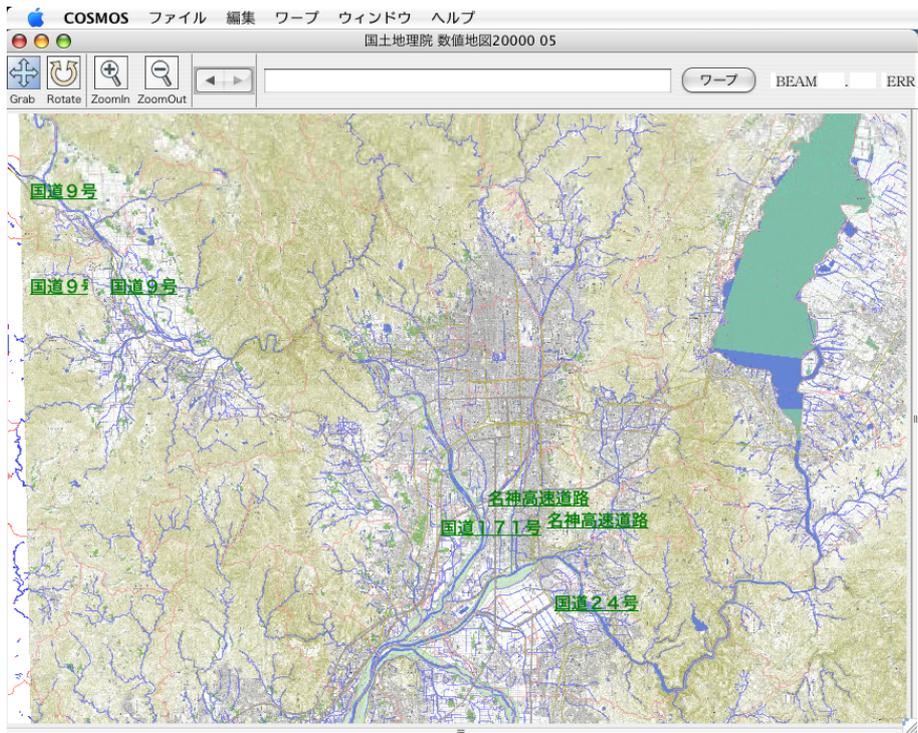


図 6.5: 情報表示パートを消す

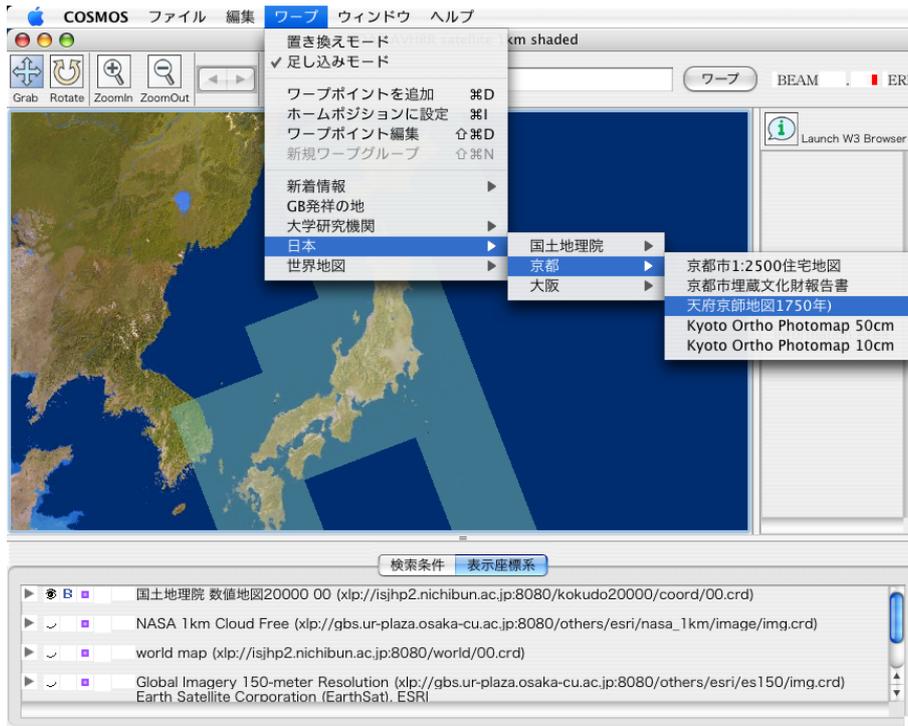


図 6.6: カスケードするワークメニュー

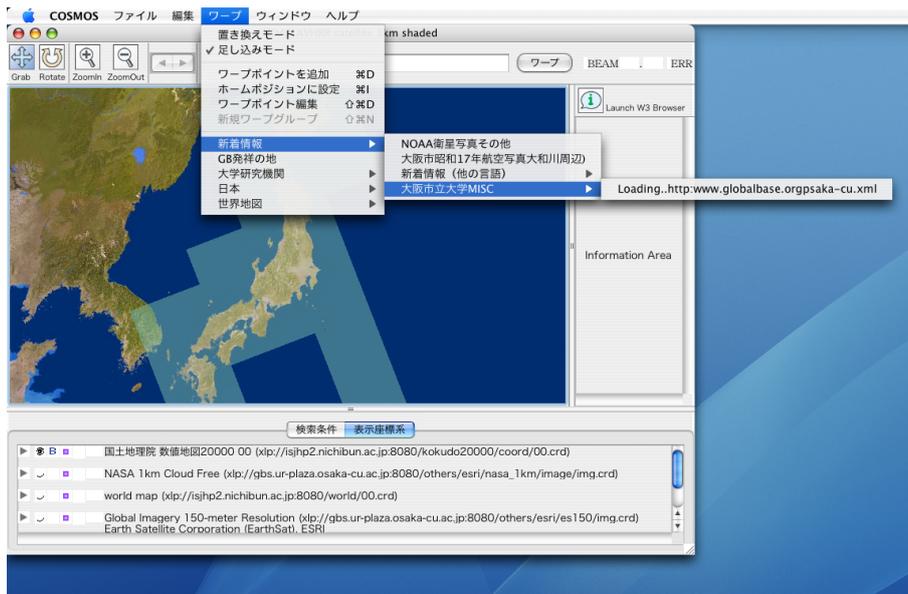


図 6.7: ネットワークワークグループ

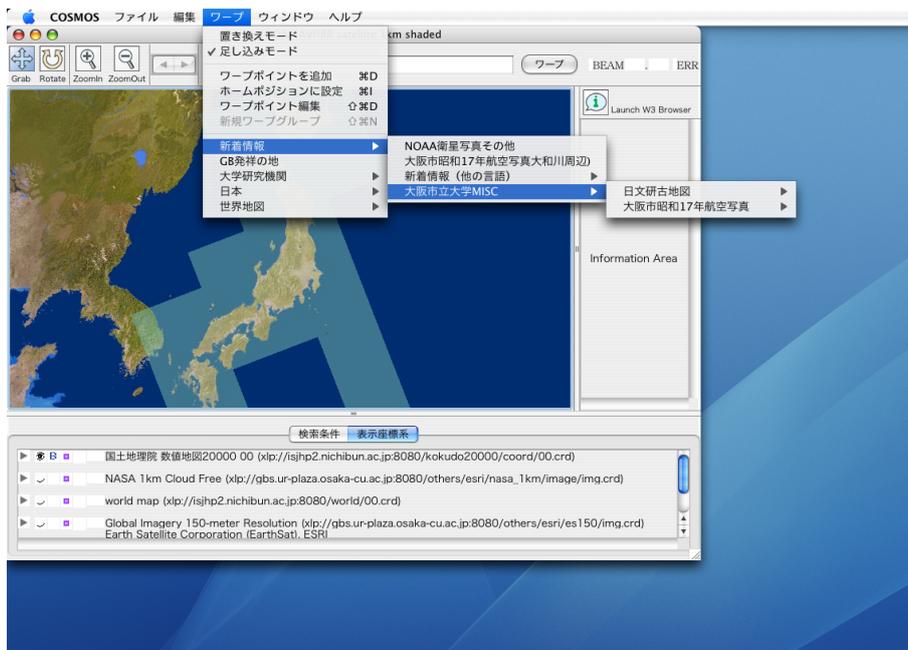


図 6.8: ネットワークワークグループ (ロード後)

6.5 ワープメニュー機能

「ワープ」メニューにあるサブメニューの使い方を説明します。

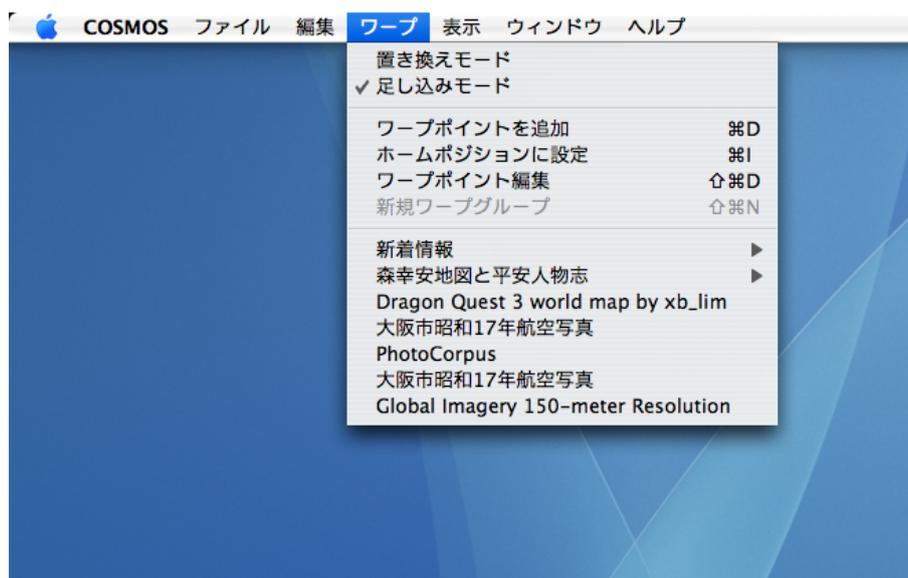


図 6.9: ワープメニュー

ワープポイント追加

このメニューを選択すると、現在画面に表示されている場所が新しいワープポイントとしてメニューに追加されます。メニューの名前は、そのときベースマップとなっている座標系の名前になります。この名前を他のものにしたい場合は、ワープポイントの編集メニューで編集画面を開き編集します「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワープポイントメニュー編集ウィンドウ」。

ホームポジションに設定

このメニューを選択すると、現在表示されている場所が、「新規」などで新しくブラウジングウィンドウを開いたときに最初に表示される場所に設定されます。このとき「環境設定」の「ホーム URL」タブにおいて、「ホームポジション設定の手法」が「ワープを使う方法」になっている必要があります。

置き換えモード / 足し込みモード

このメニューはトグルとなっていてどちらかひとつが選択されている状態になっています。この二つのモード、ワープメニューによってある場所へジャンプしたときに、それまでに表示されている地図の処理についてのモードです。「置き換えモード」が選択されているときには、表示位置はもちろんのこと、検索条件も新しいものに完全に置き換えてジャンプします。したがって、それまでに表示されていた情報はすべて失われます。一方、「足し込みモード」はそれまでに表示されている地図の検索条件に新しい検索条件を加え、新しい表示座標系も古いものに重ねるという手法でジャンプします。

6.6 ブラウザウィンドウその他事項

バージョンの確認

バージョンの確認は、Mac であれば、「COSMOS」メニュー、その他の OS であれば、「ヘルプ」メニューにある、「COSMOS について」メニューを開くと確認出来ます。このウィンドウを閉じる場合は、クローズボックスをクリックしてください。



図 6.10: バージョン情報 (COSMOS について)

認証処理

コンテンツによっては認証が必要なものがあります。図 6.11 に示すように、「表示座標系パート」の表示座標系の左に認証ボタンが現れます。ここをクリックし認証処理を行います。認証処理の詳細については、「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「認証ダイアログウィンドウ」を参照してください。



図 6.11: 認証アイコン

第7章 ワープポイントメニューをカスタマイズ

7.1 概要

ワープポイントメニューの位置を入れ替えたり等、ワープポイントメニューのカスタマイズの方法を説明します。

7.2 ワープポイントメニュー編集画面を開く

ブラウジングウィンドウの「ワープ」「ワープポイント編集」メニューを選びます。すると「ワープメニュー編集」ウィンドウ (図 7.1) が開きます。

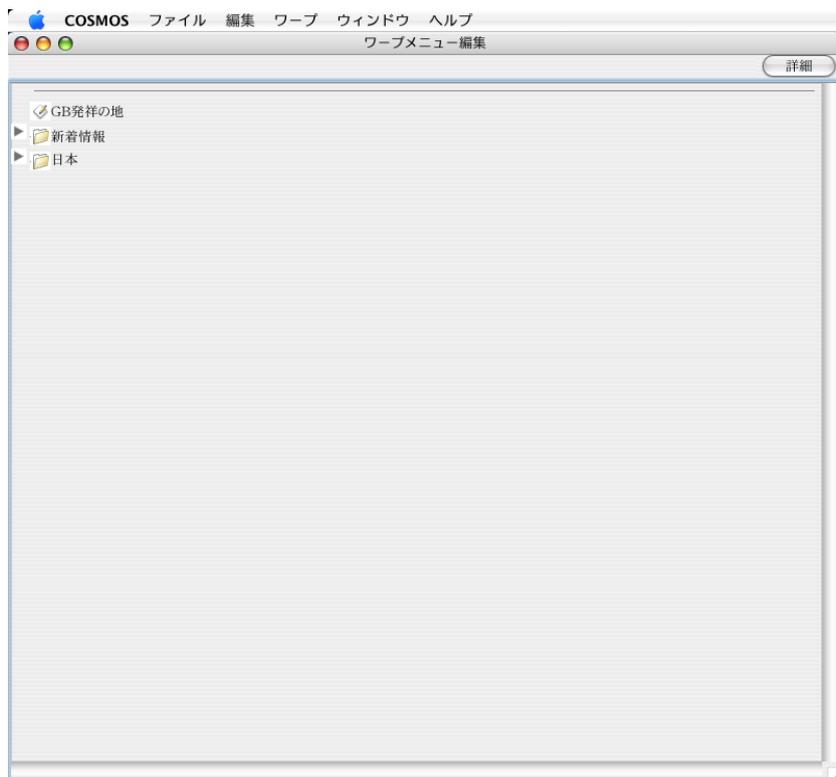


図 7.1: ワープメニュー編集ウィンドウ

このウィンドウでは、「ワープ」メニュー下部にあるサブメニューの構造がディレクトリの構造として表現されています。図 7.2 の 1. のアイコンは、ひとつのワープポイントメニューをあらわし、2. のアイコンは、サブメニュー（ワープグループ）を表します。サブメニューは、左の三角マークをクリックすると開くことができ、さらに下位のメニューを編集することができます。

1.



2.



図 7.2: ワープメニューアイコン

7.3 ワープポイントメニューのタイトルを変更する

ワープメニューのタイトル部分を一回クリックすると、ワープメニューが選択された状態になります (図 7.3)。

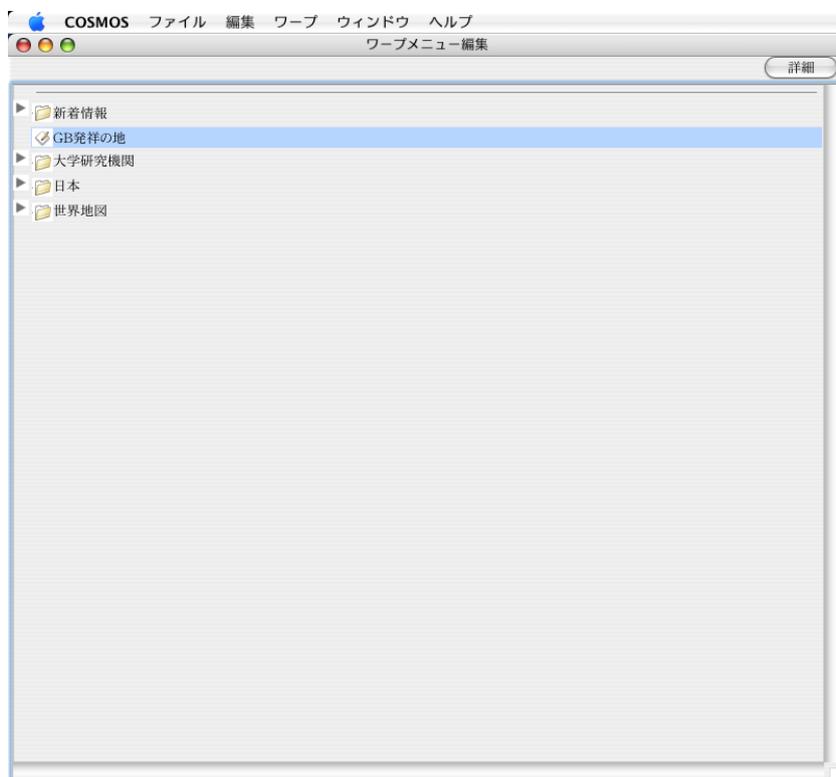


図 7.3: ワープメニューを選択した状態

この状態でさらにタイトル部分をもう一回クリックすると、タイトル編集ボックスが現れ、編集可能になります (図 7.4)。

タイトルを編集し (図 7.5)、いま編集対象となっているワープメニューの外側をクリックすると、編集結果が確定されます (図 7.6)。

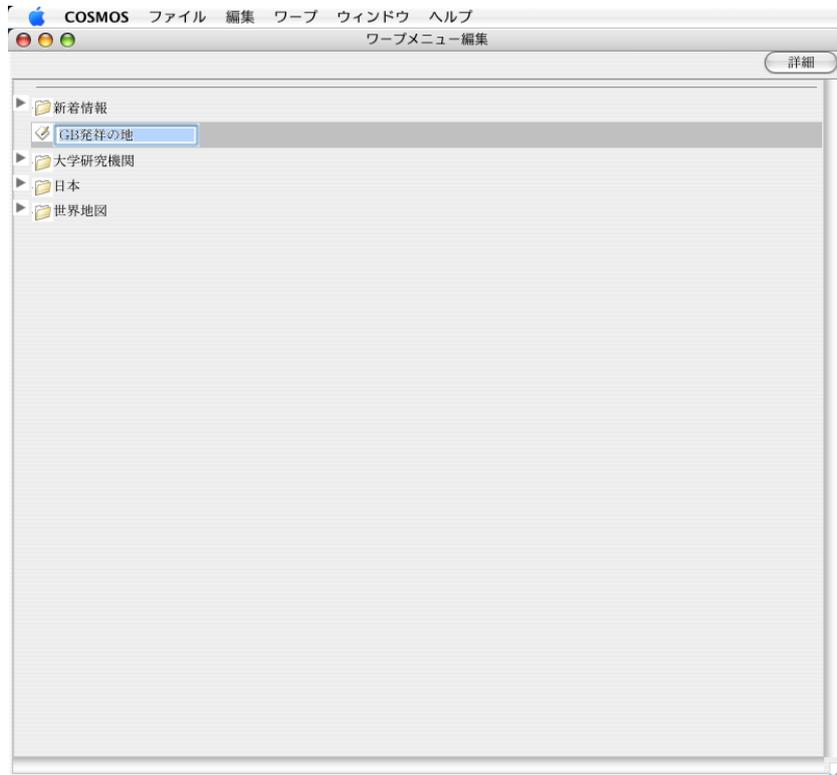


図 7.4: 編集可能状態

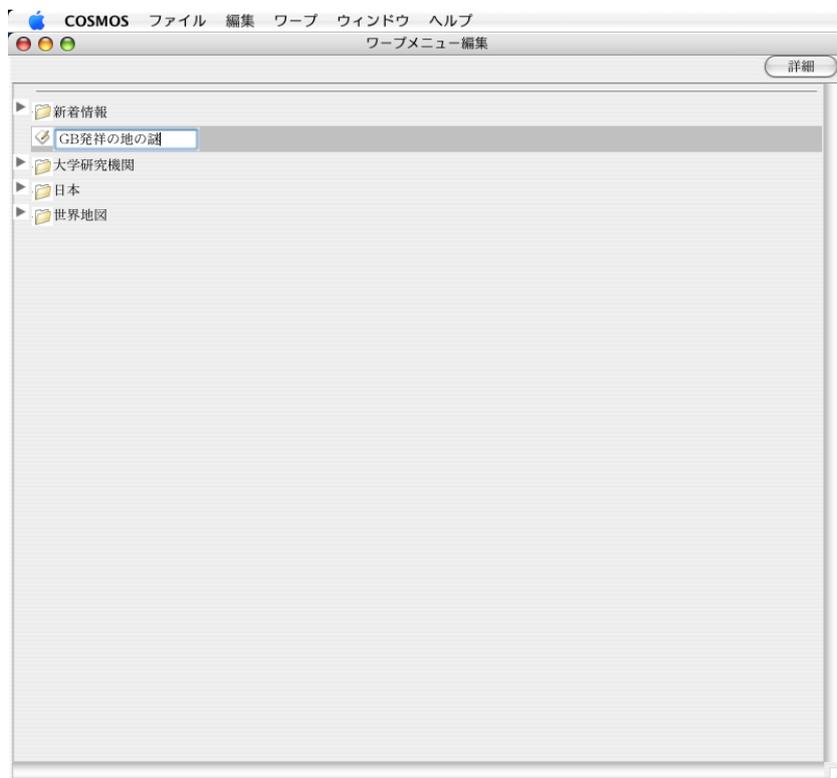


図 7.5: テキストの編集

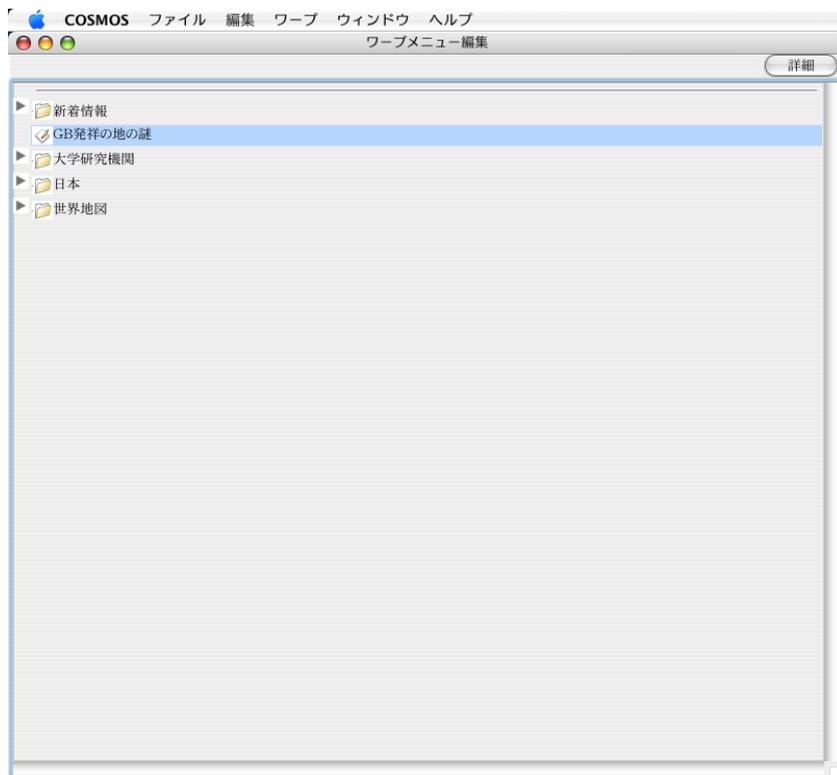


図 7.6: 編集結果の確定

7.4 ワープポイントメニューの位置を変更する

ワープポイントメニューの変更は、基本的にカットアンドペーストで行います。移動元をカットし (図 7.7)、移動先の手間になるメニューを選択し (図 7.8)、ペーストします (図 7.9)。

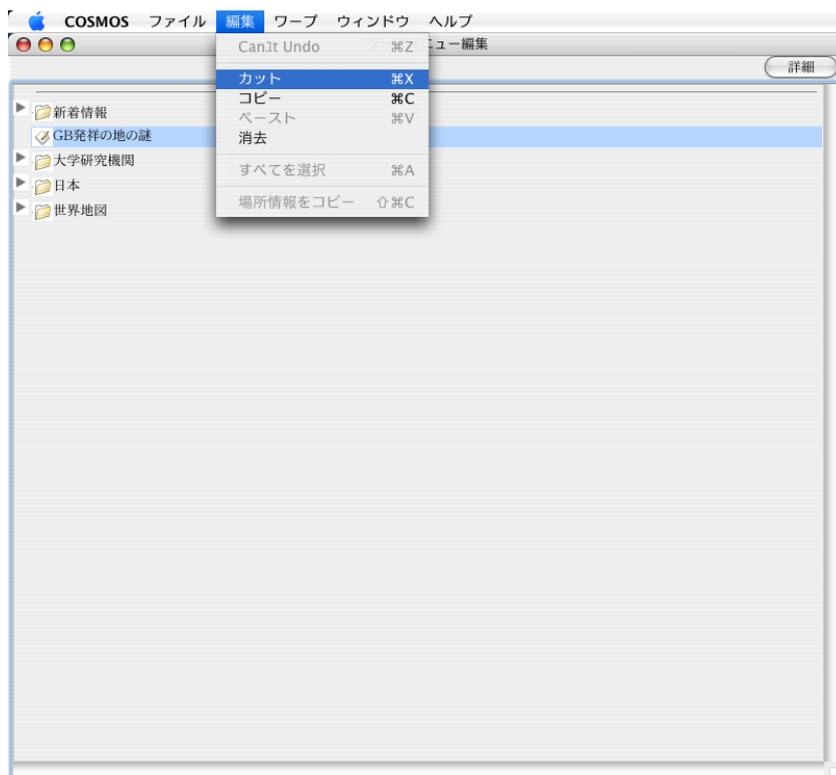


図 7.7: 異動元のカット

もし、異動先が、サブメニューやメニュー全体の先頭である場合は、セパレートバーを選択しペーストします (図 7.10, 図 7.11)。

7.5 ワープポイントメニューの保存

ウィンドウのクローズボックスを押すと、保存が出来ます。図 7.12 のようなダイアログが現れますので、「保存する」を選択するか、リターン (エンター) キーを押すと、ウィンドウを閉じることができます。閉じずにメニューを保存するのみの場合は、「ファイル」「保存」メニューを選んでください。

[メモ]

メニューが大きいと処理に時間がかかる場合があります。

7.6 新しいサブメニュー (ワープグループ) を作る

ワープグループを作成するには、「ワープ」「新規ワープグループ」を選びます。すると「名称未設定」のワープグループがひとつ生成されます。生成する場所をあらかじめ指定するには、その場所の手前となるメニューあるいは、ワープグループ、セパレートバーを選択しておき、メニューを選択します (図 7.14)。

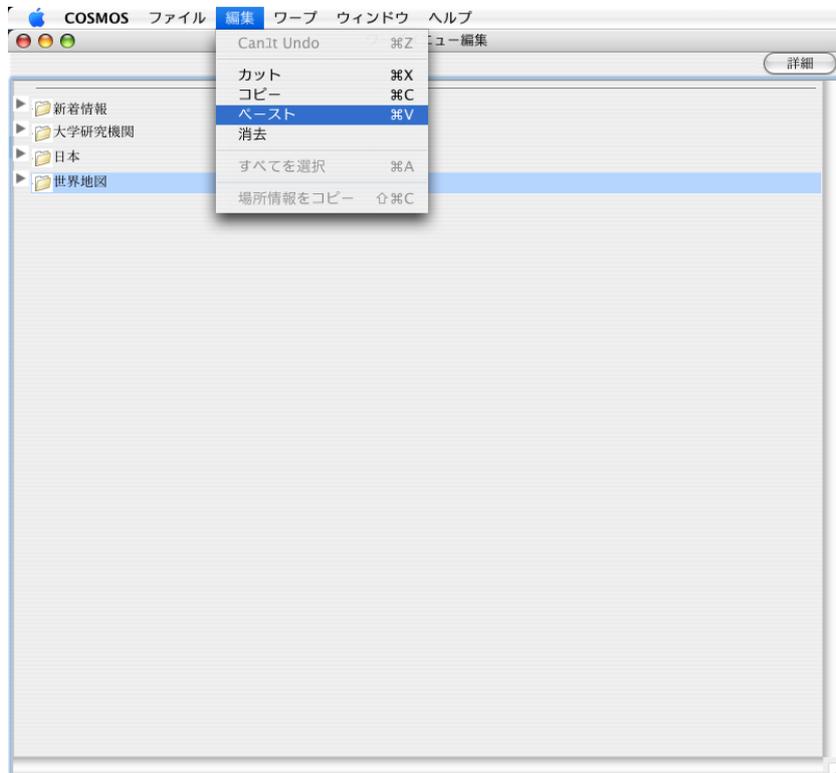


図 7.8: 異動先へペースト

7.7 ワーブメニューの詳細設定

ワーブメニューをひとつ選択し、ウィンドウ右上の「詳細」ボタンをクリックするとワーブメニューの詳細情報が表示されます (図 7.15, 図 7.16)。

ワーブメニューのメニュー名、タイプなど、ワーブメニューを生成時点で採取され、ワーブ時に必要とされるすべての情報がここに記載されています。上から基本項目のリスト、座標系の表示、非表示の設定。検索条件の順番で並んでいます。

基本項目において、項目と値の間の「*」はその項目が編集可能であることを示しています。しかし、この値は編集することはあまりお勧めできません。編集の結果がどのようなになるかは座標系の知識を十分に持ち合わせている必要があります。座標系の表示、非表示の編集は、有効でしょう。ジャンプしたときに、表示される座標系を、メニューを作った時点と変更するときに有効です。検索条件の編集も有効です。必要のない条件を削除したり、あるいは、一時的に見えないようにしたりすることが出来ます。

[注意]

編集後、ウィンドウの左側、メニューリストパートの現在選択されているメニュー以外の場所をクリックすると編集が確実に確定します。

変更の保存の方法は 7.5 節と同じです。

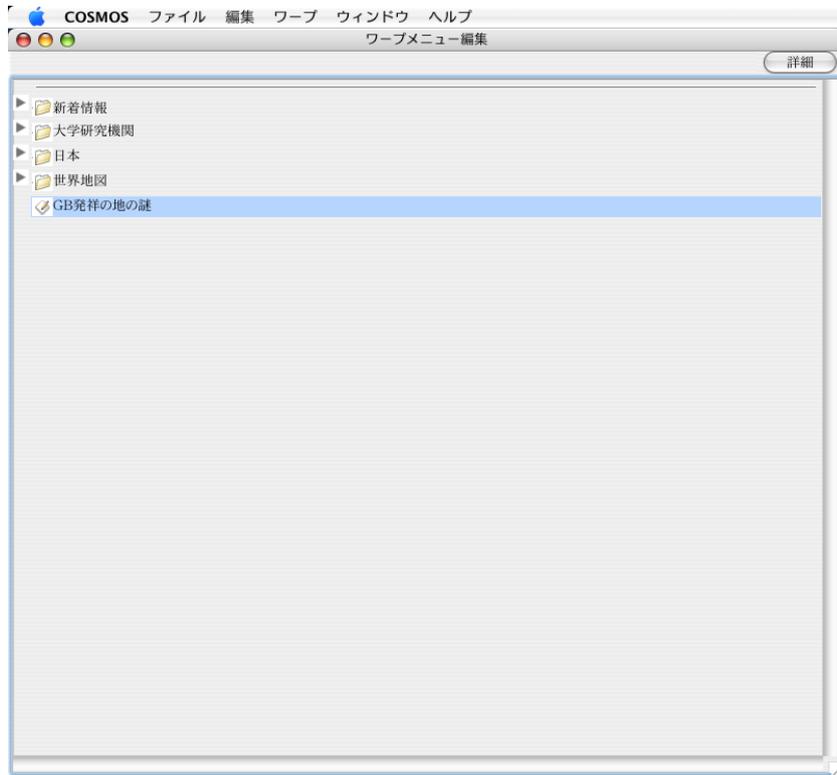


図 7.9: ペーストの結果

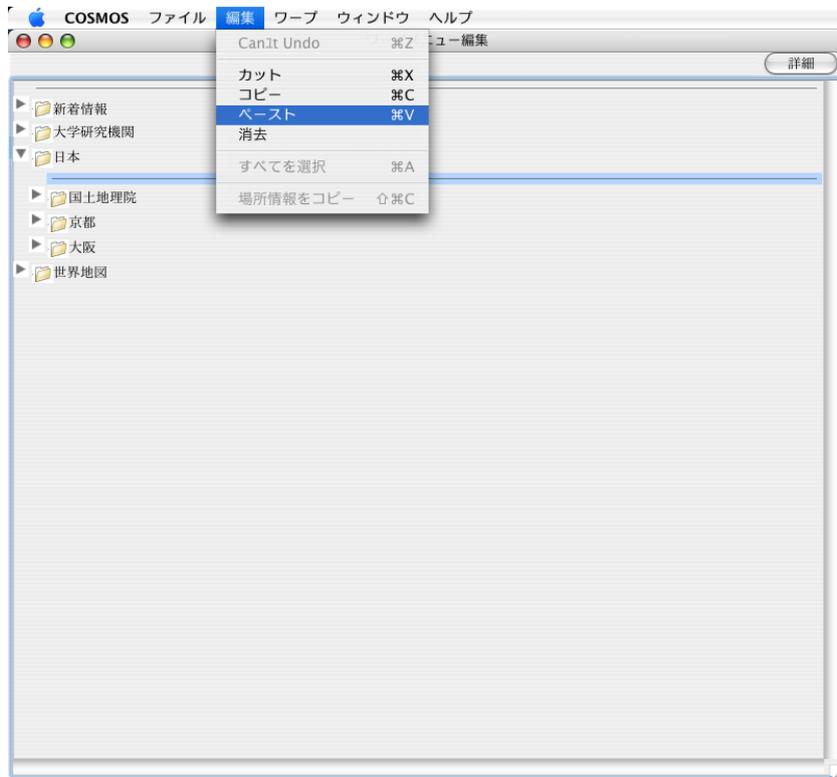


図 7.10: セパレートバーの選択、ペースト

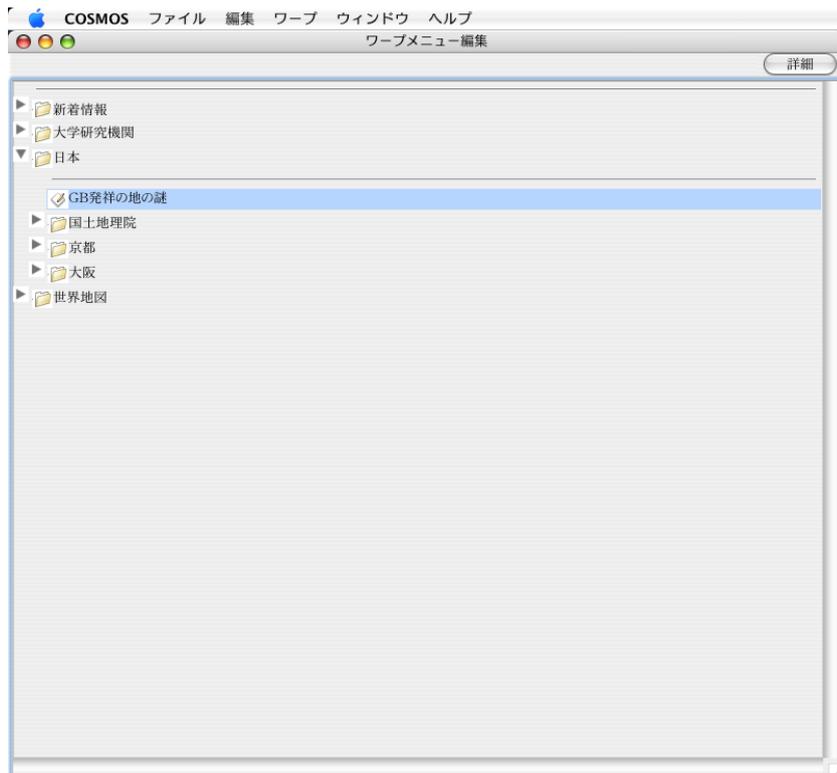


図 7.11: ペーストの結果



図 7.12: 保存確認ダイアログ

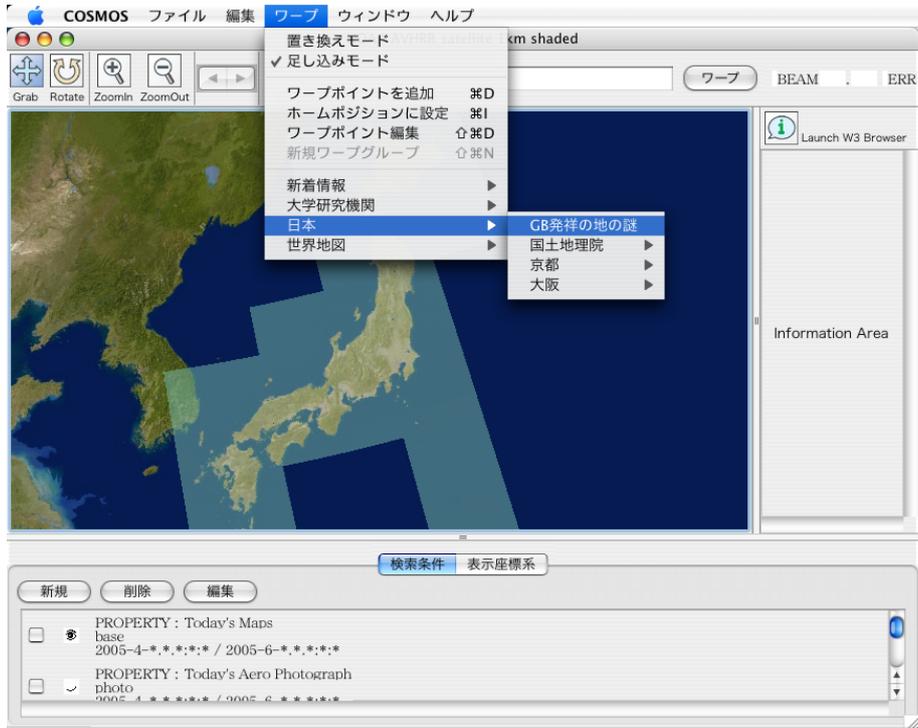


図 7.13: パーストの結果

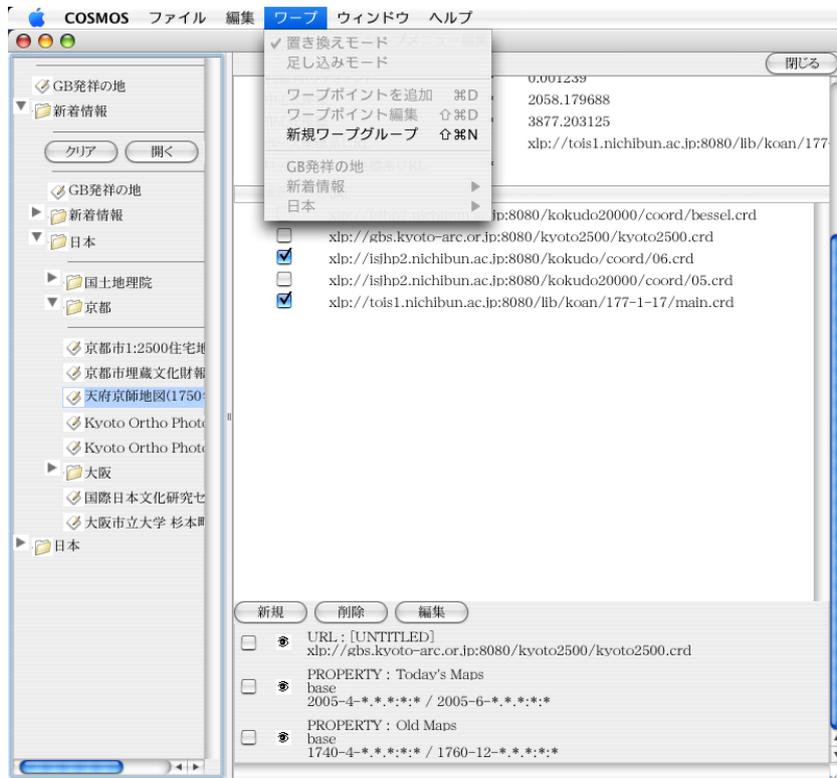


図 7.14: 新規ワープグループ



図 7.15: 詳細情報パート (基本項目、座標系)

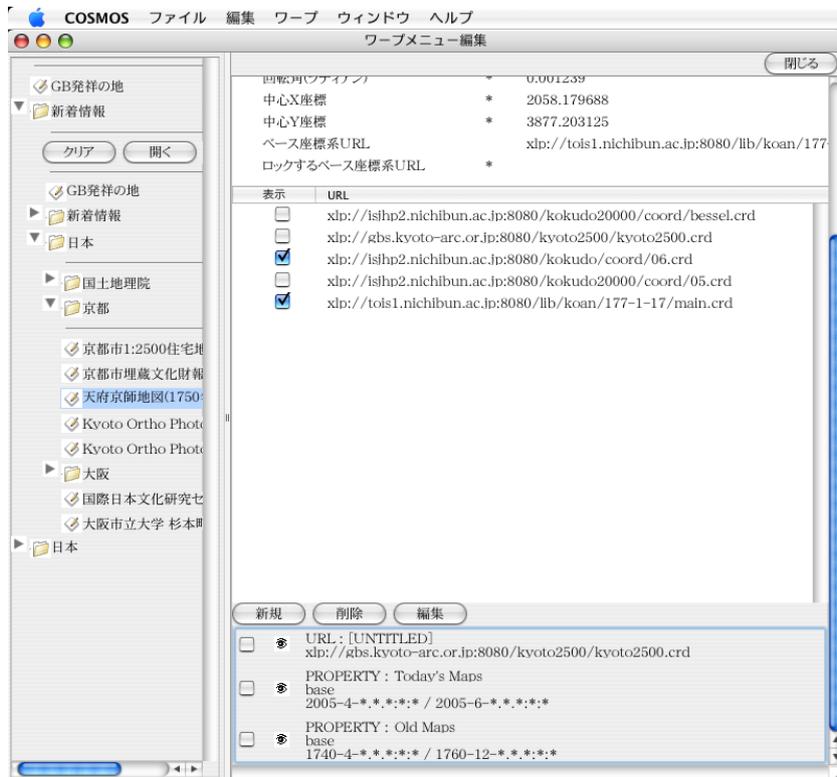


図 7.16: 詳細情報パート (検索条件)

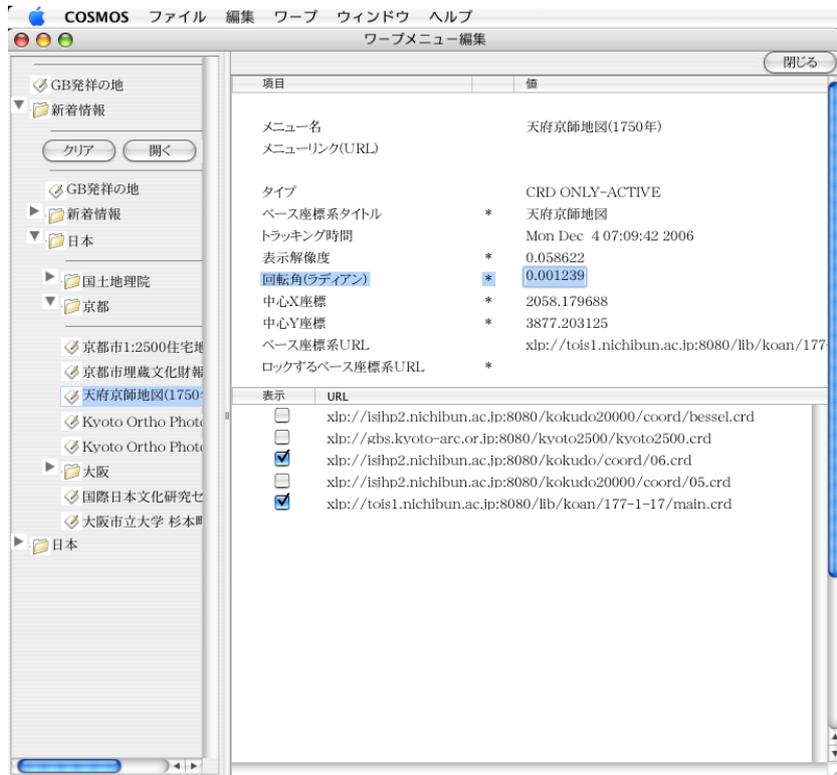


図 7.17: 項目の編集

7.8 ネットワークワーブグループメニュー

ネットワークワーブグループメニューは、図 7.18 に示すように、項目「メニューリンク (URL)」に記載があるサブメニューです。この URL を変更すると、ネットワーク上のワーブメニューが参照されるようになります。また、ネットワークワーブグループメニューには「クリア」「開く」ボタンがついています。「クリア」を押すと、現在キャッシュされているワーブグループがクリアされます。「開く」を押すと、ネットワークに接続し新しい、ワーブグループをセットアップします。

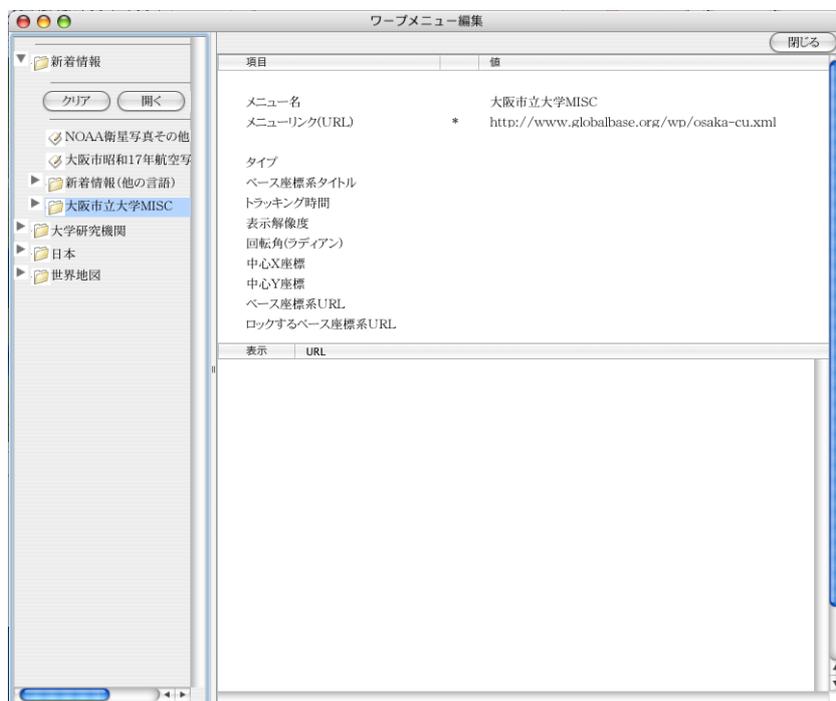


図 7.18: ネットワークワーブグループメニュー

第8章 トラックバック：HTTP ゲートウェイ画面をCOSMOS上にコピー、再現する

8.1 概要

最近、LOCALBASE [2] (HTTP ゲートウェイ) 機能を使ったがホームページが増えてきています。例えば以下のようなサイトです。

- 大阪市立大学都市文化研究センター
(UCRC) (<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/UCRC/ja/archives/database.html>)
大阪歴史空間 (<http://ucrc.lit.osaka-cu.ac.jp/gbs/s17osaka/>)
- 東京大学総合研究博物館 (<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>)
学誌財グローバルベース (<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/globalbase/gateway/main.html>)
- 国際日本文化研究センター
平安人物志データベース (<http://tois.nichibun.ac.jp/hsis/heian-jinbutsushi/Heian/index.html>)
古地図による京都の町 (<http://tois.nichibun.ac.jp/hsis/gateway/main.html>)

これらで表示される地図は COSMOS で再現し、自分の好きな他の地図と重ね合わせたりすることができます。ここでは、ゲートウェイで表示されるウェブの地図を COSMOS 上で再現する方法を説明します。

8.2 この作業の前提となるシステム要件

COSMOS, ブラウザ

8.3 HTTP ゲートウェイをつかったホームページをアクセスする

ホームページ制作者のデザインによって異なりますが、標準的な HTTP ゲートウェイは 図 8.1 図 8.2 のようなページです。標準的な Web ブラウザでアクセスできます。画面のどこかに、「COSMOS へのトラックバック」あるいはこれに類するボタンがあれば、表示されている地図や画像を COSMOS 上へもっていくことが出来ます。

標準的な HTTP-GATEWAY のページでは、COSMOS のインストーラ用ダウンロードボタンを備えている場合があります。もし、COSMOS を持っていない方はこのボタンを使って、あらかじめ COSMOS をダウンロードしておく必要があります。

[メモ]

すでに COSMOS をインストール済みの方は、 8.5 節へ進んでください。

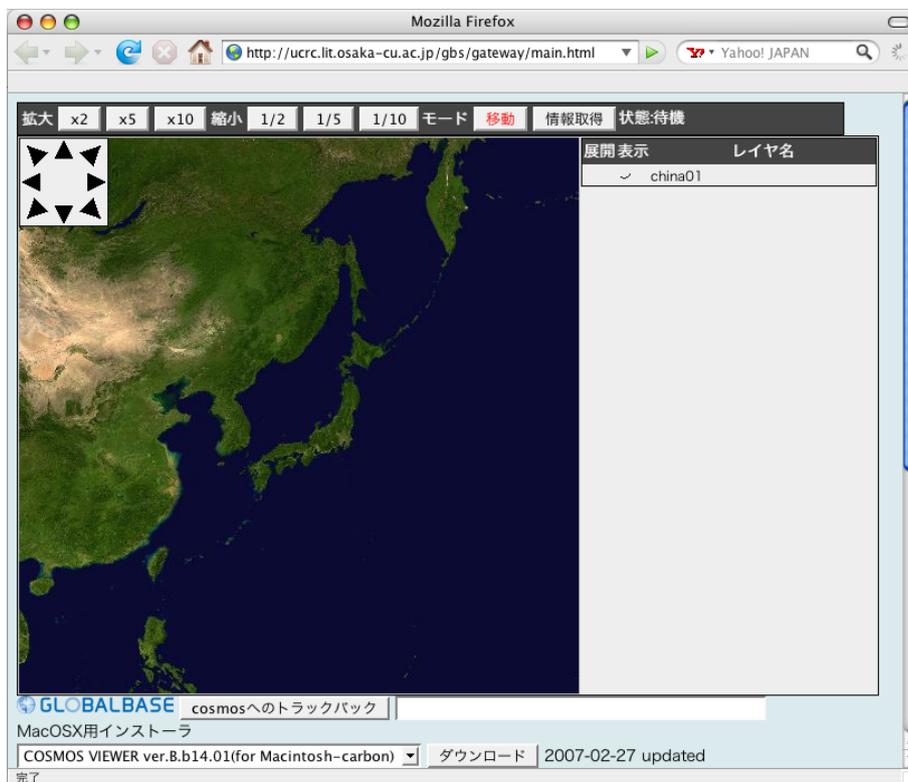


図 8.1: 標準的な HTTP ゲートウェイ

8.4 COSMOS のダウンロード (必要あれば)

[メモ]

すでに COSMOS をインストール済みの方は、8.5 節へ進んでください。

「専用ブラウザ (COSMOS) のダウンロードボタン」に手持ちの OS と一致した COSMOS のバージョンが表示されているかを確認してください。もし、違う OS のダウンロード情報が表示されている場合、図 8.3 に示すように、ポップアップメニューで一致したものを選び直すことができます。

選び終わったら、「ダウンロード」ボタンを押します。cosmos のインストーラがブラウザにより決められたディレクトリーにダウンロードされます。おおよそはデスクトップにダウンロードされるでしょう。ダウンロードされた COSMOS は、2 節や、3 節 4 節に従ってインストールしてください。

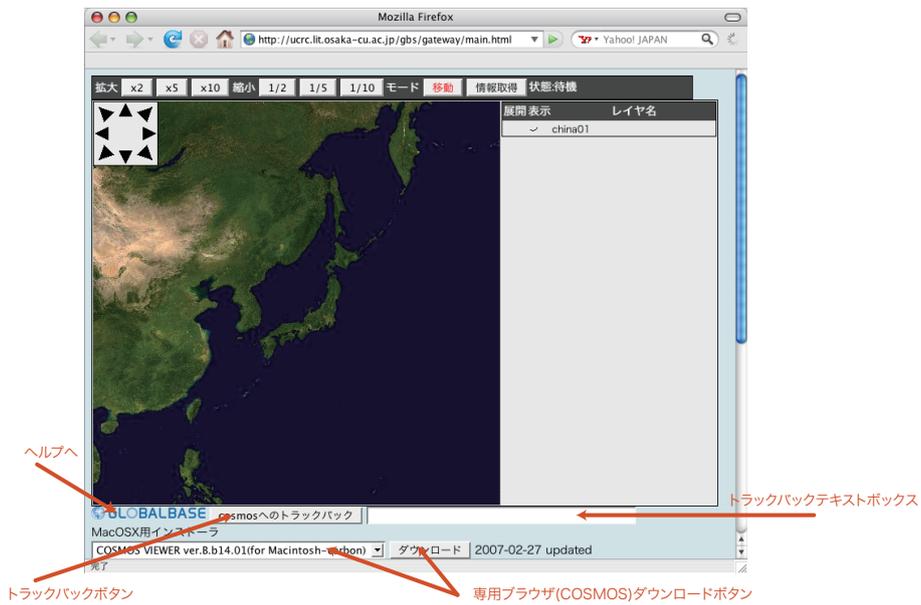


図 8.2: 標準的な HTTP ゲートウェイの各部名称

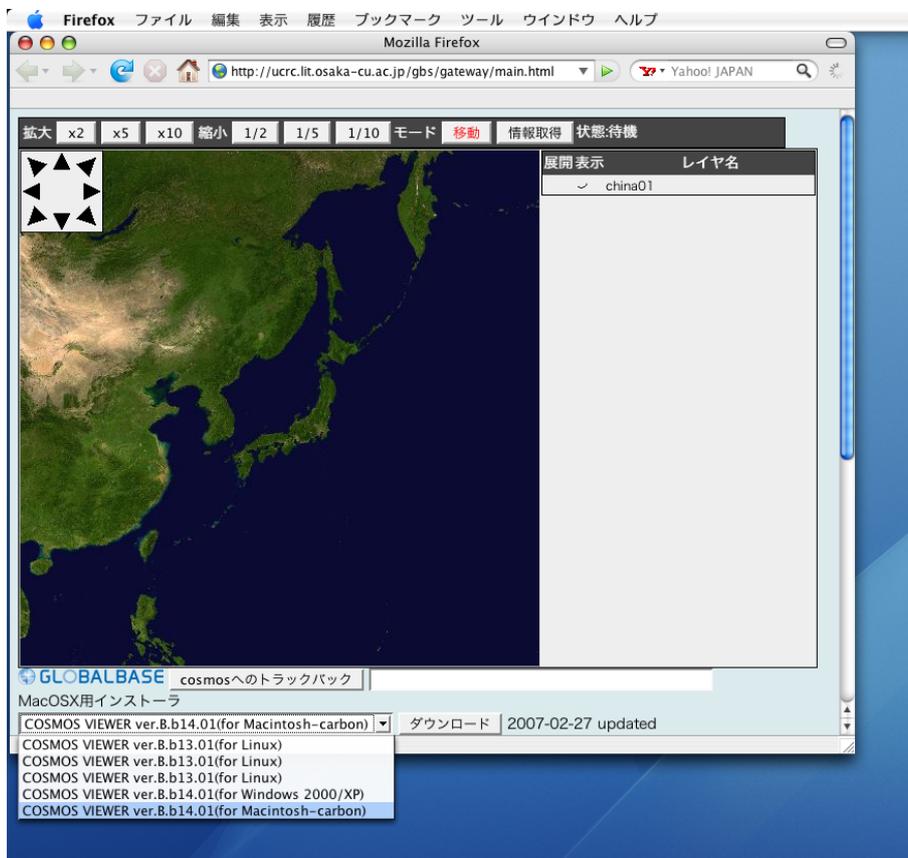


図 8.3: 対応 OS を選ぶポップアップメニュー

8.5 トラックバック

ウェブページの画面上の、「COSMOS へのトラックバック」というボタンを押します。「トラックバックテキストボックス」に複雑な文字列が選択された状態で表示されると同時に、ブラウザによって、トラックバック情報の含まれたファイルをダウンロードするかどうかを聞いてくるでしょう。例えば、図 8.4 に示されるようなダイアログが開きます。

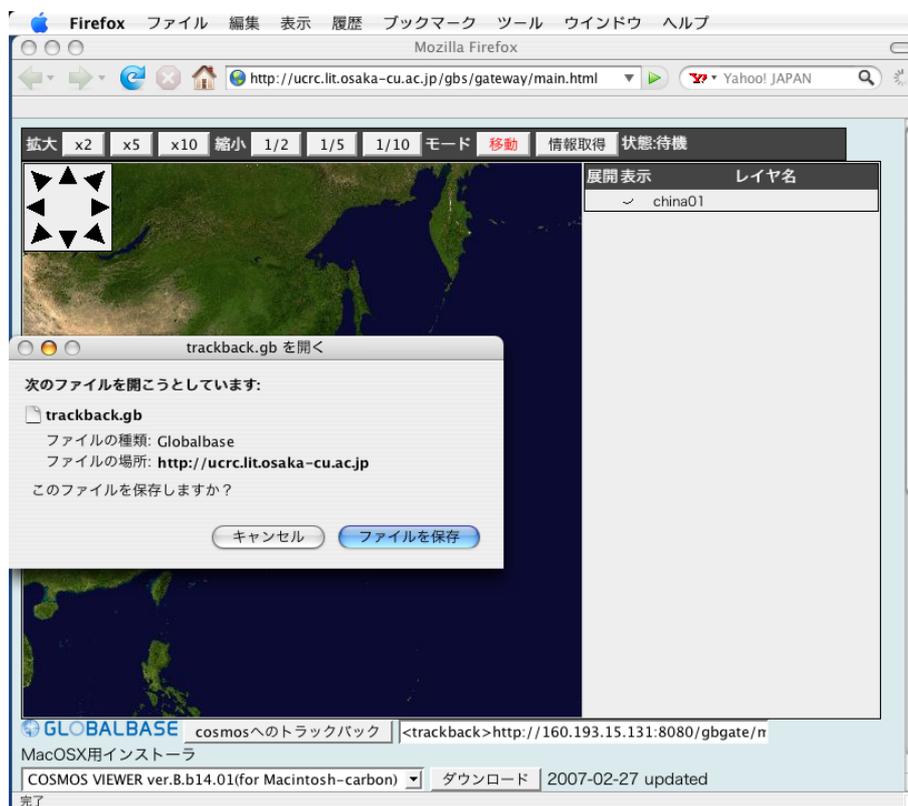


図 8.4: FireFox の場合

「ダウンロード」を選択します。ブラウザによっては、ダウンロード後ファイルを開くかどうかを聞いてくる者もあります。そういった場合「実行」「開く」を選択してください。FireFox の例では、図 8.5 のようなダウンロードインスペクタが開きますので、ここで、「開く」を選びます。



図 8.5: FireFox の場合

8.6 COSMOS で再現された画面

もし、COSMOS が実行されていない場合は、COSMOS が起動し、図 8.6 のように HTTP ゲートウェイと同じ画面が開きます。もし、COSMOS が既に行実行されている場合はその COSMOS 上に画面が再現されています。

「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「ワープメニュー」「置き換えモード」が選択されている場合、COSMOS に開いていた地図は破棄され、HTTP ゲートウェイの地図が再現されます。「足し込みモード」が選択されていた場合は、現在開いている地図の上に HTTP ゲートウェイの地図を重ねようとします。重ね合わせが可能のためには、サーバ上で HTTP ゲートウェイの地図と、COSMOS に既に表示されていた地図の間に直接的ないし間接的にリンクが存在する必要がありますので、必ずしも重ね合わせは成功するとは限りません。成功しなかった場合は、「置き換えモード」と同じ動作をします。

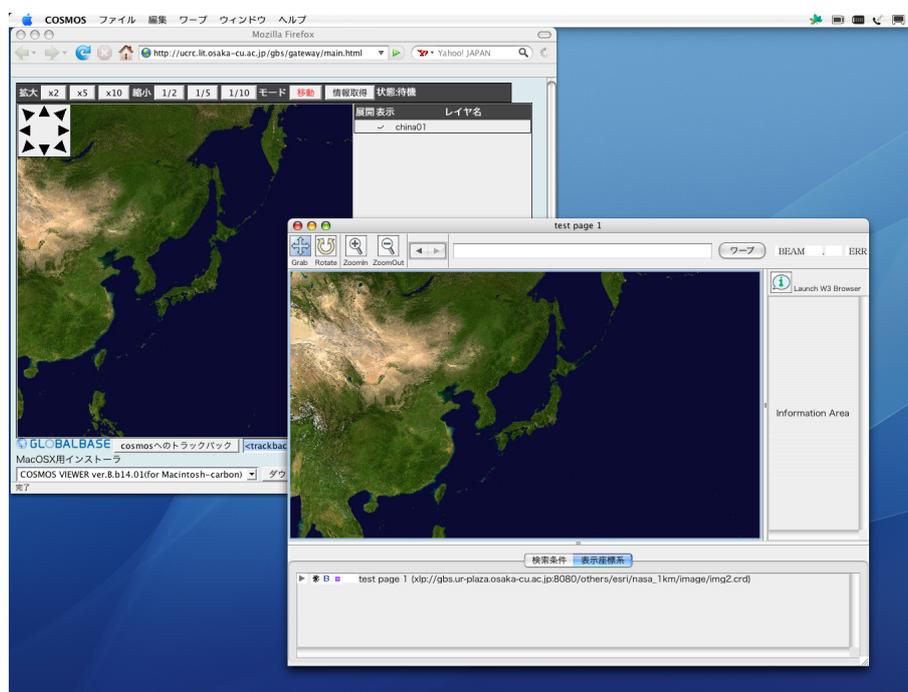


図 8.6: COSMOS で再現された画面

[トピック]

ブラウザの相性やファイアーウォール、ウィルスガード機能などのためにトラックバックが正常に動作しないことがあります。そのような場合は、8.7 節へ進んでください。

8.7 「COSMOS へのトラックバック」で正常にトラックバックできなかった場合

ブラウザの相性やファイアーウォール、ウィルスガード機能などのためにトラックバックが正常に動作しないことがあります。そのような場合は、トラックバックテキストボックスの文字列をコピーし、COSMOS に貼付ける方法でも再現することができます。

まず、図 8.7 のように COSMOS をあらかじめ起動してください。

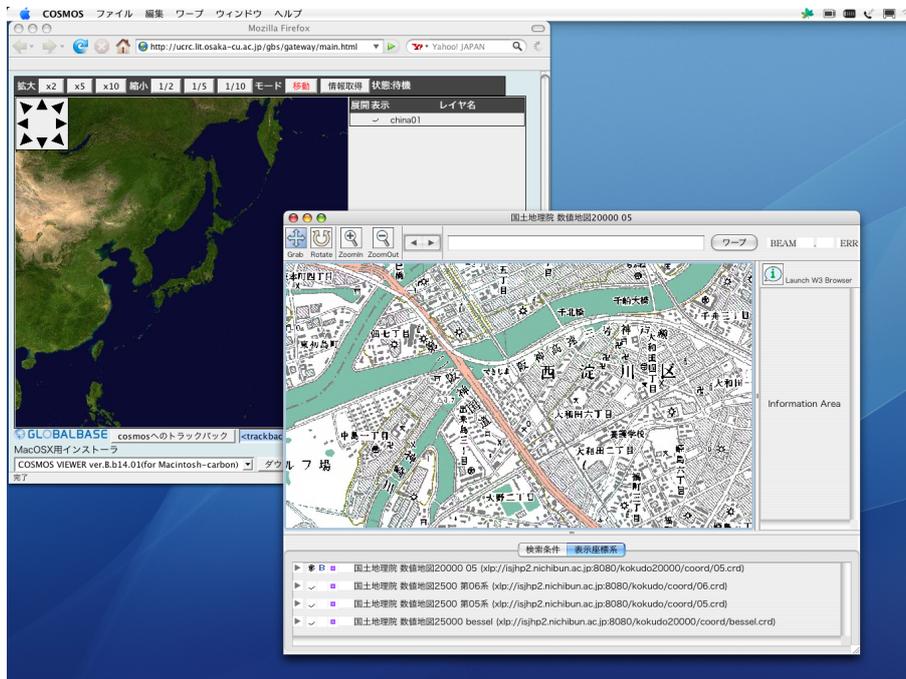


図 8.7: 起動された COSMOS

8.8 トラックバック情報をコピー、ペースト

HTTP ゲートウェイの画面においてトラックバック情報のテキストボックスが選択状態になっていることを確認し、文字列をコピーします (図 8.8)。次に COSMOS のウィンドウを表に持ってきて、地図上をクリックし、地図をフォーカスします。そして、文字列をペーストします (図 8.9)。しばらくすると、COSMOS の画面上に 図 8.6 と同じく地図が再現されます。

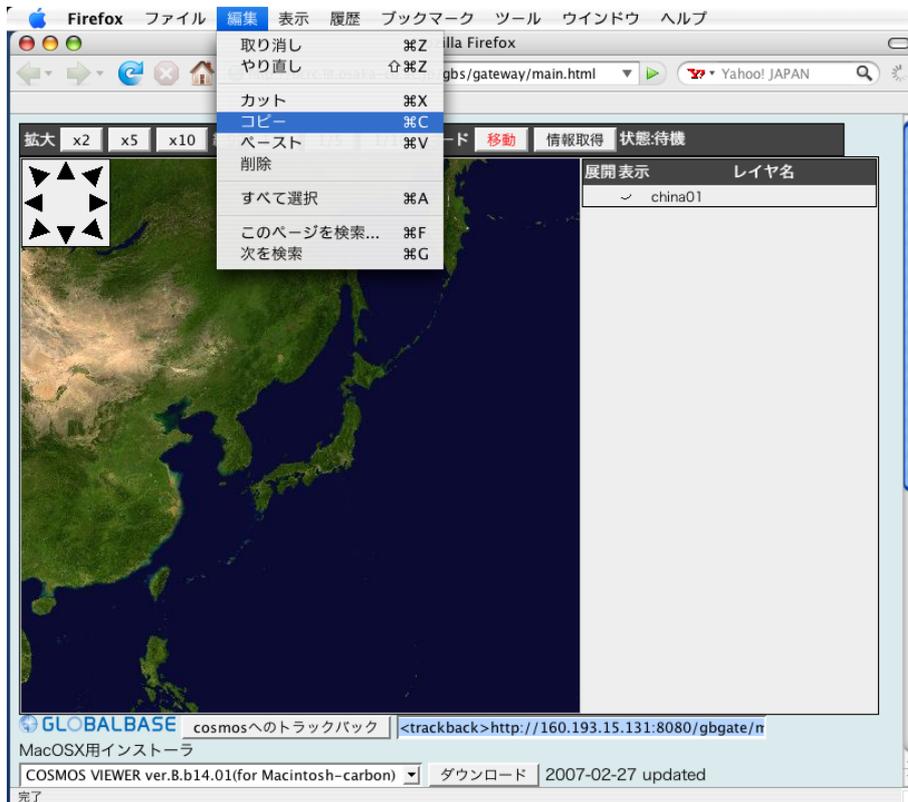


図 8.8: HTTP ゲートウェイでトラックバック情報をコピー

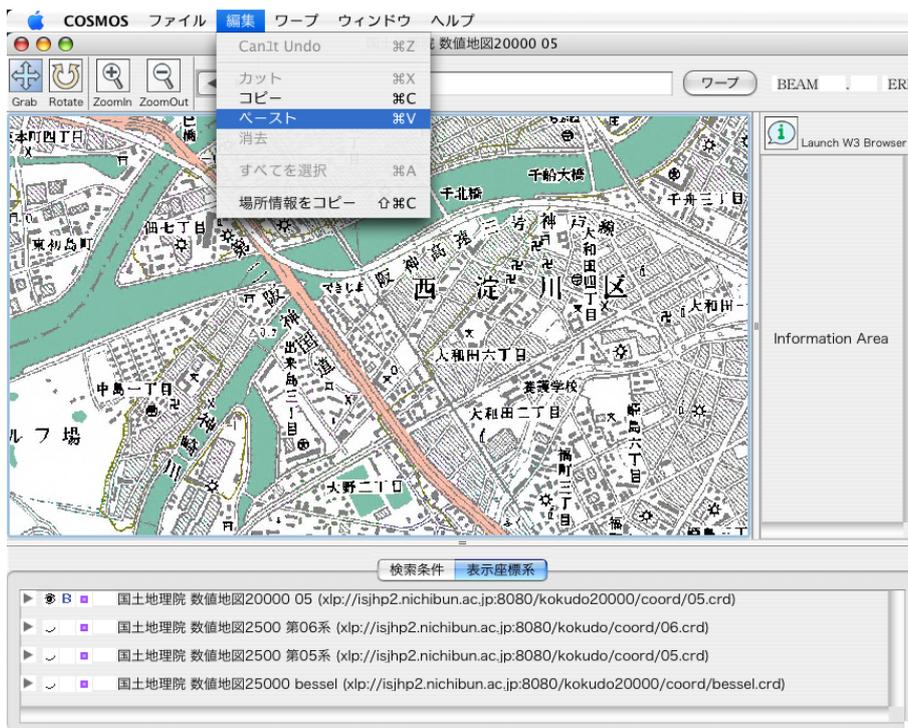


図 8.9: COSMOS の地図をクリックし、ペースト

第9章 COSMOSのクリップボードについて

9.1 概要

COSMOSのクリップボードに入るデータについて説明します。

9.2 クリップボードのデータ型

COSMOSのクリップボードで扱われるデータ型は以下の通りです。

1. 画像
2. テキスト
 - (a) 通常テキスト
 - (b) XML
 - i. 検索条件
 - ii. ワープポイント
 - iii. ワープポイントメニュー
 - iv. トラックバック

9.3 画像

「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ブラウザウィンドウ」で、地図（ブラウジングパート）がフォーカスされているときにコピーするとJPEG画像がコピーされます。逆にブラウジングパートに画像を貼付けることはできません。

9.4 通常テキスト

1. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ブラウザウィンドウ」ワーブボックス、表示座標系パート文字部分
2. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「検索条件編集ウィンドウ（フローティング）」条件識別タイトル、URL検索、時間
3. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」[1]の「ワーブポイントメニュー編集ウィンドウ」タイトル編集

などにおいて、通常のテキストのコピー、ペーストが出来ます。トラックバック、ワーブポイント、ワーブポイントなどのXML型のテキストも貼付けることは出来ますが、意味をなさない場合があります。

[メモ]

他のアプリケーションに対してこれらのテキストを貼付けることもでき、メールなどで、これらのテキストを送信、他の COSMOS へのペーストなどが出来ます。

9.5 検索条件

1. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「ブラウザウィンドウ」検索条件パート
2. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「検索条件編集ウィンドウ (フローティング)」ホーム URL ナビゲーション条件
3. ワープポイントメニュー編集ウィンドウ (5.3 節) 「詳細」検索条件

[メモ]

他のアプリケーションに対してこれらのテキストを貼付けることもでき、メールなどで、これらのテキストを送信、他の COSMOS へのペーストなどが出来ます。

9.6 ワープポイント

1. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「ブラウザウィンドウ」「編集」「場所情報をコピー」メニューでコピー、ペーストも可能
2. ワープポイントメニュー編集ウィンドウ (5.3 節) 「編集」「ペースト」メニューのみ

ワープポイントとワープポイントメニューは構造としては若干異なります。後者はメニューとしての名前がついていたり、メニューセット、ネットワークメニューなどの機能が含まれます。

ブラウザウィンドウでワープポイントをペーストすると、そのワープポイントの情報に従ってジャンプする。一方、ワープポイントメニュー編集ウィンドウでペーストするとひとつのメニューとなる。

[メモ]

他のアプリケーションに対してこれらのテキストを貼付けることもでき、メールなどで、これらのテキストを送信、他の COSMOS へのペーストなどが出来ます。

9.7 ワープポイントメニュー

1. ワープポイントメニュー編集ウィンドウ (5.3 節) 「編集」「ペースト」のみ

ワープポイントとワープポイントメニューは構造としては若干異なります。後者はメニューとしての名前がついていたり、メニューセット、ネットワークメニューなどの機能が含まれます。

ブラウザウィンドウでワープポイントをペーストすると、そのワープポイントの情報に従ってジャンプする。一方、ワープポイントメニュー編集ウィンドウでペーストするとひとつのメニューとなる。

[メモ]

他のアプリケーションに対してこれらのテキストを貼付けることもでき、メールなどで、これらのテキストを送信、他の COSMOS へのペーストなどが出来ます。

9.8 トラックバック

1. 「COSMOS リファレンス・マニュアル」 [1] の「ブラウザウィンドウ」「編集」「ペースト」メニューのみ

トラックバック (8 節) 機能によってコピーしたものを、ブラウザウィンドウでコピーすると、ゲートウェイの情報が参照され、同様のレイヤが再現される。

関連図書

- [1] 森洋久. COSMOS リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [2] 森洋久, 中島智人. LOCALBASE セットアップ・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.

履歴

1. 日時: 2007-11-04
マニュアル生成。(2007-11-04 版)
2. 日時: 2006-07-22
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b11
このマニュアルを作成。
3. 日時: 2006-12-07
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b14
このマニュアル名称変更。
4. 日時: 2007-03-29
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b14.04
トラックバック機能の記述を追加。
5. 日時: 2007-06-08
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b16.05
基本機能、ワーブポイントメニューカスタマイズ、環境設定、クリップボードの記述。
6. 日時: 2007-06-08
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b16.06
Posix 系、および Mac の cosmos のインストール方法の変更に対応。
7. 日時: 2007-10-18
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b16.14
XL ネイティブプロキシの記述を追加。